Infectious Diseases Weekly Report JAPAN
IDWR
2007年第40週（10月1日～10月7日）：通巻第9巻第40号

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
感染症発生動向調査

感染症週報

厚生労働省／国立感染症研究所

マークをクリックするとそのページを見ることができます

発生動向総覧 P.2-4
＜第40週＞百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向

注目すべき感染症 P.5-11
＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞今後冬季のピークに向かって報告数は増加していくものと推定される
＜腸管出血性大腸菌感染症＞第40週の報告数は212例であり、累積報告数は3,647例である

病原体情報 P.12-16
ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2007年／B群コクサッキーウイルス5型 2007年／インフルエンザウイルス 2007/08シーズン

速報 P.17-18
中国への研修旅行帰国後、細菌性赤痢感染が判明した学生グループの事例－新潟市

海外感染症情報 P.19
インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

感染症の話 P.20
＜今週はお休みです＞

読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞

グラフ総覧（40週） P.21-27

40週のデータ P.28-40

発生動向総覧

※2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

＜第４０週コメント＞10月11日集計分

◆全数報告の感染症

注意：これは**当該週に診断**された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

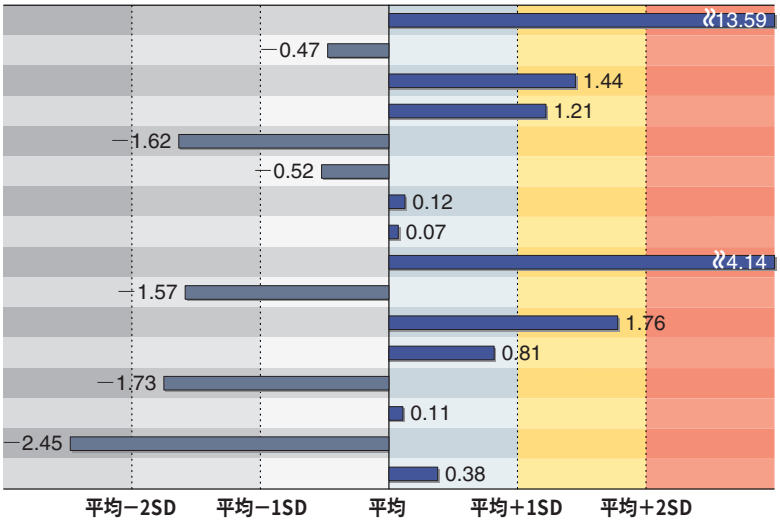
1類感染症：報告なし
2類感染症：**結核** 227例
3類感染症：**細菌性赤痢** 7例
（感染地域：インド2例、中国2例、メキシコ2例、パキスタン1例）
腸管出血性大腸菌感染症 212例
（うち有症者152例、うちHUS 8例、死亡なし）
感染地域：すべて国内
国内の多い感染地域：宮城県（92例）*、愛知県（12例）、兵庫県（12例）
*うち90例は仕出し弁当による食中毒に関連した集団発生
年齢群：10歳未満（48例）、10代（15例）、20代（69例）、30代（28例）、40代（20例）、50代（15例）、60代（7例）、70歳以上（10例）
血清型・毒素型：O157 VT1・VT2（88例）、O157 VT2（25例）、O26 VT1（16例）、O157 VT1（3例）、O146 VT1・VT2（2例）、O1 VT2（1例）、O91 VT1（1例）、O103 VT1（1例）、O111 VT1・VT2（1例）、その他/不明（74例）
腸チフス 3例（感染地域：ネパール1例、スリランカ1例、ミャンマー1例）
4類感染症：**A型肝炎** 2例〔感染地域：静岡県1例、国外（国不明）1例〕
デング熱 1例（感染地域：ベトナム）
ライム病 1例（感染地域：北海道）
レジオネラ症 11例（すべて肺炎型）
年齢群：20代1例、60代6例、70代2例、80代2例
感染地域：愛知県3例、埼玉県2例（うち1例温泉）、山形県1例、新潟県1例、国内（都道府県不明）3例、中国1例
5類感染症：**アメーバ赤痢** 4例（腸管アメーバ症3例、腸管外アメーバ症1例）
感染地域：国内3例、ブルキナファソ1例
感染経路：経口1例、性的接触（異性間および同性間）1例、不明2例
ウイルス性肝炎 2例
〔B型＿感染経路：性的接触（同性間）1例、水平感染1例〕
クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
（孤発性プリオン病古典型1例、遺伝性プリオン病家族性1例）
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例（50代）
後天性免疫不全症候群 12例（無症候9例、AIDS 2例、その他1例）
感染地域：すべて国内
感染経路：すべて性的接触（異性間4例、同性間8例）
ジアルジア症 1例（感染地域：ネパール）
梅毒 10例
（早期顕症I期2例、早期顕症II期3例、晩期顕症1例、無症候4例）
破傷風 2例（60代1例、70代1例）
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3例
（遺伝子型：すべて不明＿菌検出検体：胆汁1例、尿2例）

（補）他に第39週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例（感染地域：インド）、E型肝炎1例（感染地域：バングラデシュ．感染源：不明）、日本紅斑熱2例（感染地域：三重県1例、長崎県1例）、レジオネラ症2例〔感染地域：ともに北海道（温泉）．50代1例、60代1例〕、レプトスピラ症1例（感染地域：沖縄県．感染源：溜め池）、急性脳炎1例〔病原体不明（30代）〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例（40代）等の報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関（定点）から報告され、疾患により小児科定点（約3,000カ所）、インフルエンザ（小児科・内科）定点（約5,000カ所）、眼科定点（約600カ所）、基幹定点（約500カ所）に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較（第40週）



	定点当たり報告数
インフルエンザ	0.10
咽頭結膜熱	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95
感染性胃腸炎	3.16
水痘	0.37
手足口病	0.67
伝染性紅斑	0.14
突発性発しん	0.74
百日咳	0.02
風しん	0.00
ヘルパンギーナ	0.56
麻しん	0.01
流行性耳下腺炎	0.31
急性出血性結膜炎	0.02
流行性角結膜炎	0.60
マイコプラズマ肺炎	0.36

SD:標準偏差

当該週と過去5年間の平均（過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均）との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ：定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県（5.71）、愛知県（0.26）、静岡県（0.14）が多い。

小児科定点報告疾患：**RSウイルス感染症**は468例の報告があり、報告数は第33週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別では高知県（0.57）、長崎県（0.34）、富山県（0.31）、広島県（0.31）、が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県（2.00）、北海道（1.73）、茨城県（1.72）、埼玉県（1.69）が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県（8.3）、大分県（7.1）、島根県（6.9）、鳥取県（5.7）、が多い。**水痘**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県（0.92）、愛媛県（0.84）、新潟県（0.72）が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別では宮城県（3.0）、岩手県（2.4）、沖縄県（2.2）が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県（0.56）、福井県（0.50）、岩手県（0.44）、三重県（0.44）が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山形県（0.17）、滋賀県（0.16）、千葉県（0.08）、愛媛県（0.08）、東京都（0.07）が多い。**風しん**の報告数は6例と微減した。都道府県別では千葉県、新潟県、富山県、静岡県、広島県、鹿児島県から各1例であった。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は第31週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では新潟県（1.46）、北海道（1.38）、岩手県（1.38）、山形県（1.37）が多い。**麻しん**の報告数は減少し、12都府県から36例の報告があった。都道府県別では福岡県19例、大阪府3例、宮城県、東京都、神奈川県、兵庫県から各2例、栃木県、埼玉県、千葉県、広島県、愛媛県、熊本県から各1例の順であった。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県（0.80）、秋田県（0.77）、高知県（0.77）が多い。

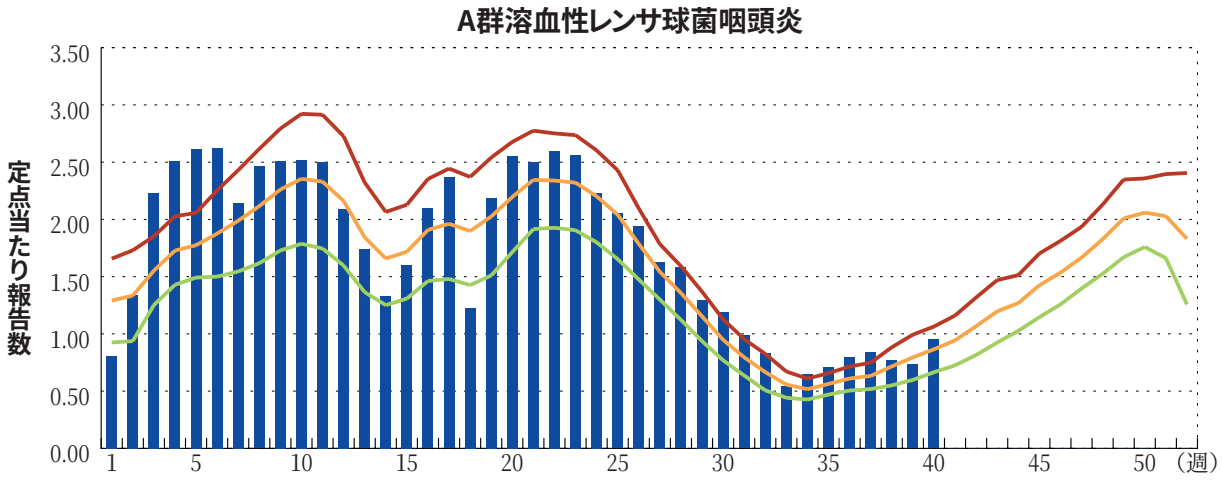
基幹定点報告疾患：**マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福島県（2.7）、沖縄県（1.9）、富山県（1.8）が多い。**成人麻しん**の報告数は増加し、4県から4例の報告があった。都道府県別では、岩手県、茨城県、神奈川県、愛媛県から各1例であった。

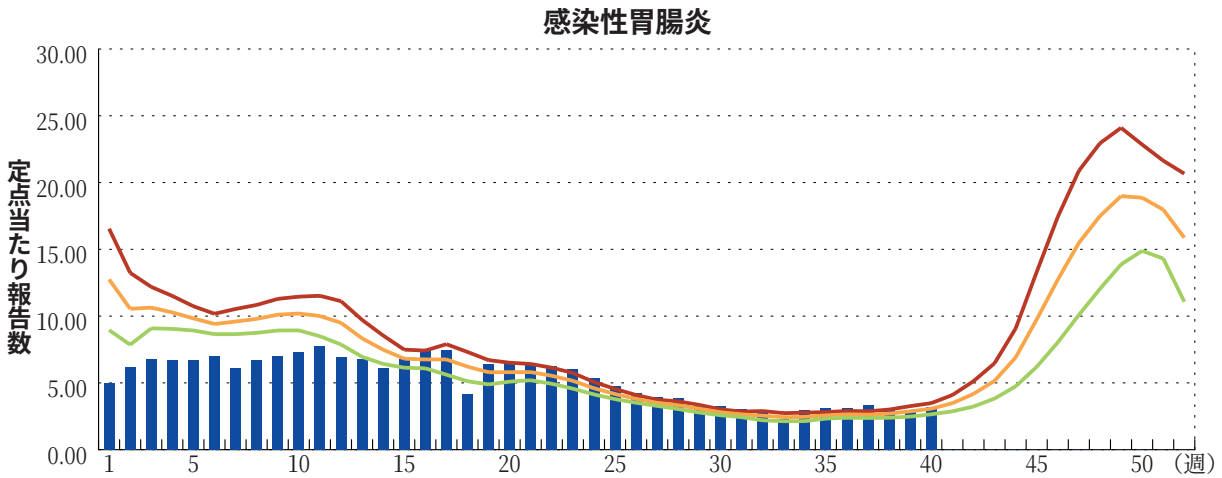
（補）麻しんおよびヘルパンギーナの報告数は修正予定である。

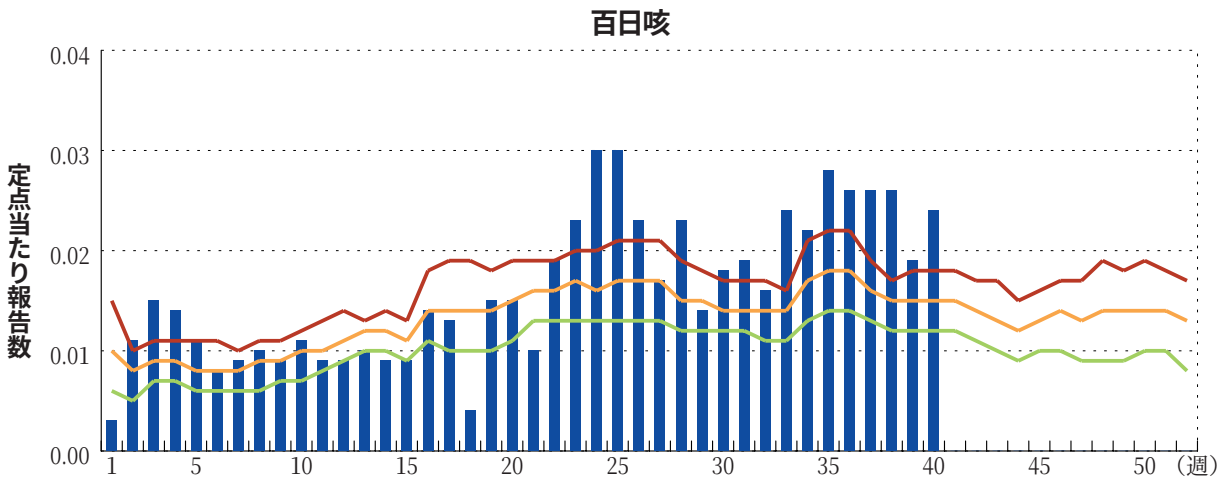
図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～40週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。

*過去5年間の平均:前週、当該週、後週の合計15週の平均







注目すべき感染症

◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌（*Streptococcus pyogenes*）はその侵入部位や組織によって多彩な症状を引き起こす。時に稀ながら発症機序がまだ不明である劇症型溶血性レンサ球菌感染症の原因となることがあるが、本項では、通常主に小児の間で発生する疾患であり、感染症法によって5類感染症定点把握疾患と定められているA群溶血性レンサ球菌咽頭炎について述べる。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、本邦を含めた温帯地域を中心に広く世界的に分布している感染症である。感染経路はヒトからヒトへの飛沫感染が主であるが、食品を介する経口感染もあるといわれている。潜伏期間は1～4日であり、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴う。通常発熱は3～5日以内に下がり、主症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患であるが、菌が産生する毒素に免疫のない場合は猩紅熱に発展する場合がある。治療にはペニシリン系薬剤が第1選択薬とされているが、ペニシリンアレルギーがある場合はマクロライド系薬剤やセフェム系を投与する。リウマチ熱や急性糸球体腎炎など非化膿性の合併症予防のために、少なくとも10日間は確実に投与することが必要である。

感染症発生動向調査によると、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は例年春季を中心とした流行の後に夏季には定点医療機関からの発生報告数は大きく低下し、第33週前後に最低値を記録した後に冬季の流行に向かって報告数は増加している（**図1**）。2000年以降の定点当たり累積報告数をみると、2004年に報告数が増加し、2005年はやや減少したものの、2006年の報告数は2004年の報告数を大きく上回った（**図2**）。また、暫定値であるものの2007年の第40週までの定点当たり累積報告数69.03（累積報告数207,432）は、2006年の同時期の報告数（定点当たり累積報告数67.35、累積報告数202,456いずれも暫定値）をやや上回っている。

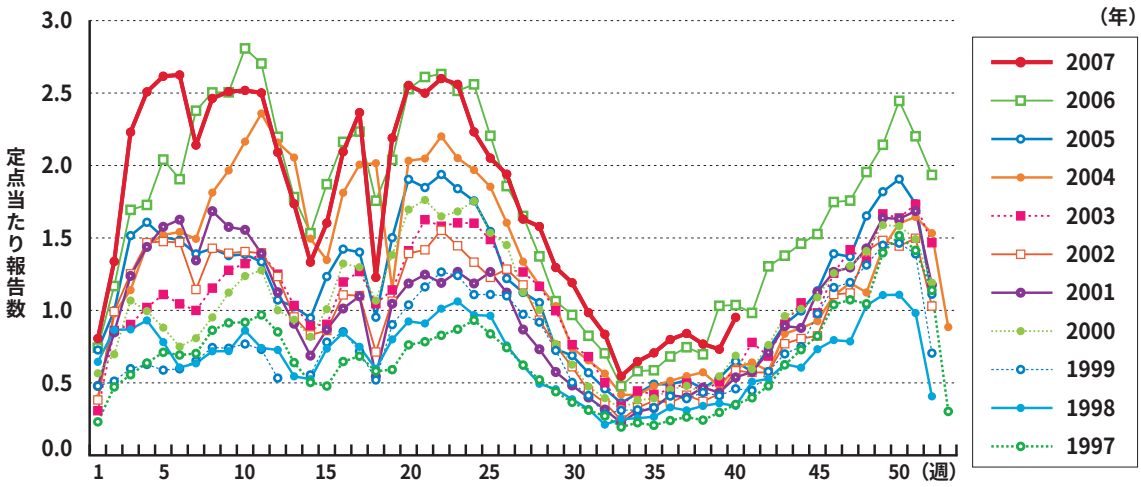


図1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別・週別発生状況（1997年～2007年第40週）

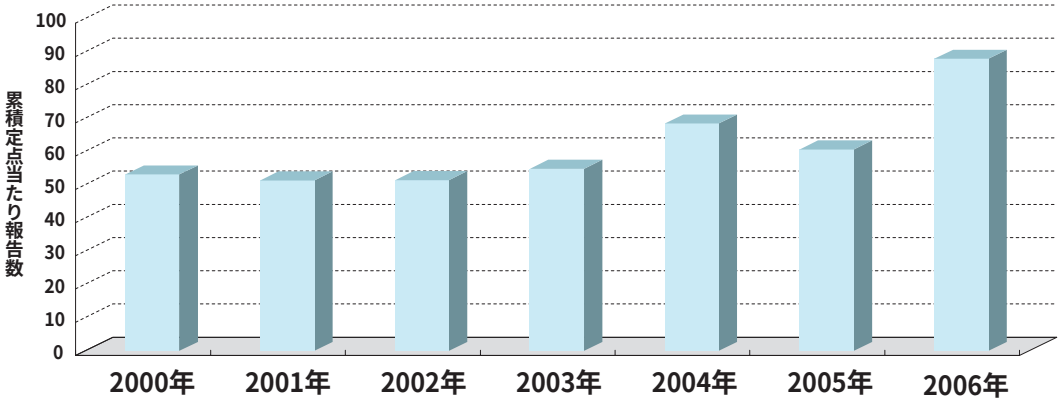


図2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり累積報告数年別推移(2000～2006年)

第40週の都道府県別の定点当たり報告数をみると、鳥取県(2.00)、北海道(1.73)、茨城県(1.72)、埼玉県(1.69)、大分県(1.39)、大阪府(1.36)の順であり、全国平均(0.95)を超えている地域は東日本に多くみられている(**図3**)。2007年第1～40週の都道府県別の定点当たり累積報告数をみると、富山県(171.82)、鳥取県(133.32)、北海道(112.81)、新潟県(101.07)、宮崎県(101.06)、埼玉県(98.42)、山形県(97.93)、茨城県(95.47)の順であり、やはり全国平均(69.03)を上回っているのは東日本の道県に多い(**図4**)。第1～40週の累積報告数の年齢別割合をみると、4～5歳30.0%、6～7歳23.2%、2～3歳15.3%、8～9歳12.9%の順であり、例年と同様4～7歳で全報告数の半数以上を占めている(**図5**)。

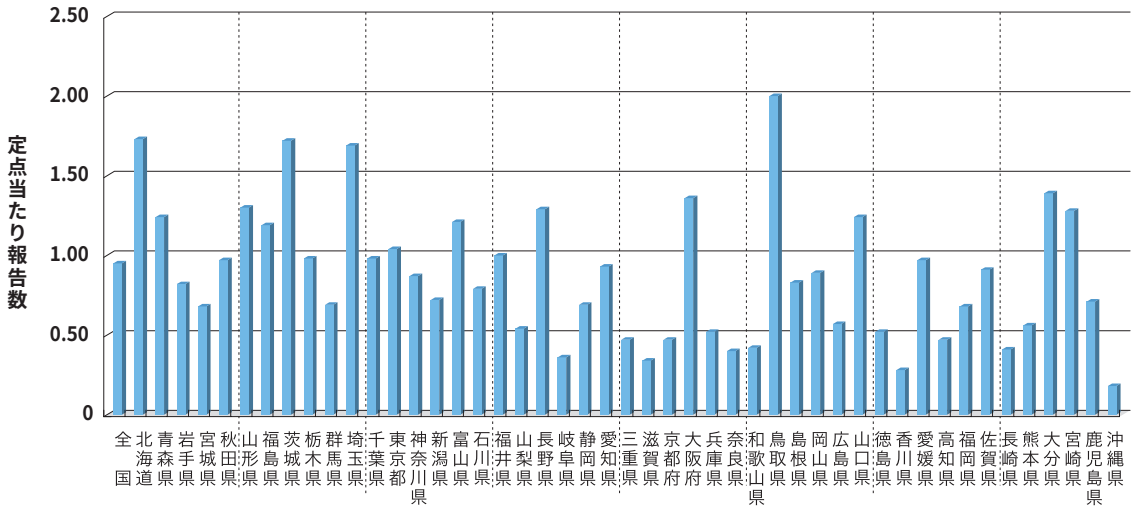


図3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の都道府県別報告状況(2007年第40週)

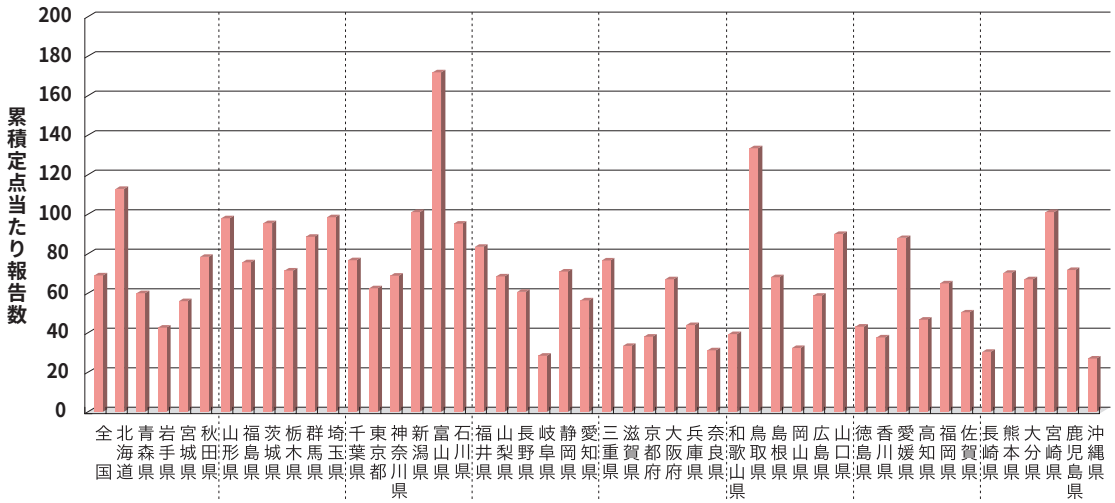


図4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の都道府県別累積報告状況（2007年第1～40週）

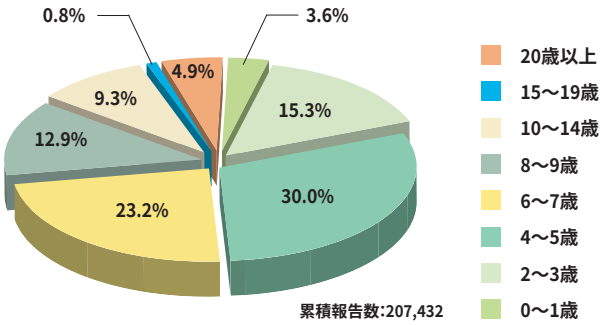


図5. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎累積報告数の年齢別割合（2007年第1週～40週）

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、今後冬季のピークに向かって報告数は増加していくものと推定される。その発生動向には注意深い観察が必要である。

◆腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、感染症法の3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が、診断した全ての医師に義務付けられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の検便によって偶然発見される場合もあるが、届け出された患者と食事をともにした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。

◆報告数推移

2007年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は第19週に50例を超え、第22週には東京都における学校の食堂での集団発生の影響から100例を超え、第23週には196例となった。第24週には一旦80例に減少したが、その後は増加傾向となり、第28週(209例)、第30週(226例)、第34週(278例)、第35週(262例)は200例を超える報告数であった。第34週をピークに減少傾向となり第36週以降は200例を下回っていた。しかし第40週(212例)は、同一の仕出し弁当による宮城県、秋田県での食中毒の集団発生によって、再び200例を超える報告数となった(**図1**)。

本年第40週までの累積報告数は3,647例であり、過去7年間の同週までの累積報告数と比較して、2001年に次いで多い報告数である(2000年2,989例、2001年4,128例、2002年2,828例、2003年2,386例、2004年3,192例、2005年3,016例、2006年3,245例。7年間の平均3,112例)。

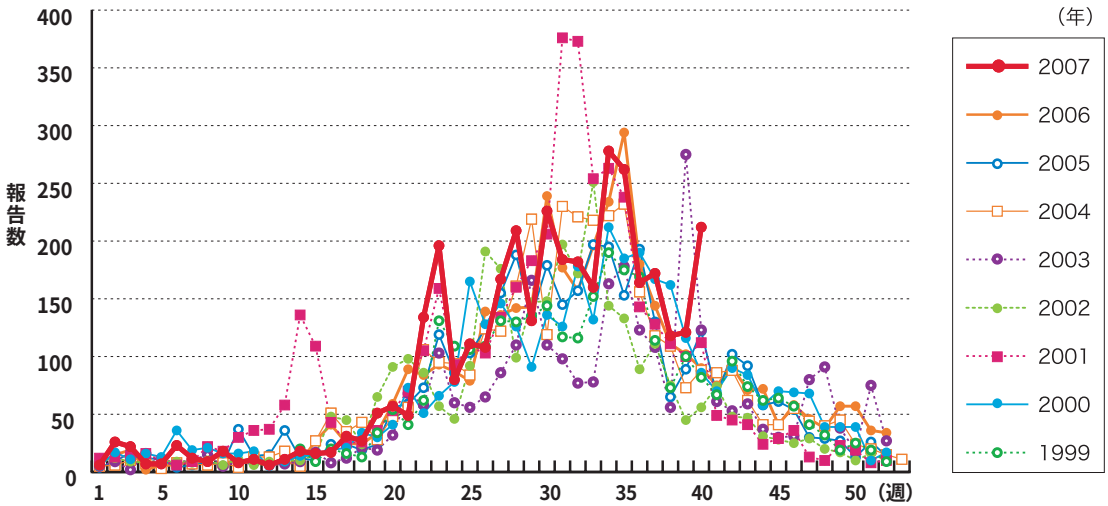


図1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年第14週～2007年第40週)

◆第40週の報告

第40週に報告のあった212例は、有症者152例（72%）で、無症状病原体保有者が60例（28%）であった。報告の多かった都道府県は宮城県（84例）、愛知県（12例）、兵庫県（12例）、秋田県（10例）、大阪府（10例）であった。感染地域はすべて国内であり、国内の感染地域として多かった都道府県は、宮城県（92例）、愛知県（12例）、兵庫県（12例）であった。性別では男性154例、女性58例であり、年齢群別では20～29歳（69例）、10歳未満（48例）、30～39歳（28例）、40～49歳（20例）、10～19歳および50～59歳（各15例）、70歳以上（10例）、60～69歳（7例）の順に多かった。

分離された菌の血清型・毒素型は、O157 VT1・VT2（88例）、O157 VT2（25例）、O26 VT1（16例）、O157 VT1（3例）、O146 VT1・VT2（2例）、O1 VT2（1例）、O91 VT1（1例）、O103 VT1（1例）、O111 VT1・VT2（1例）、その他/不明（74例）であった。

◆第40週までの累積報告

第1～40週に報告された3,647例についてみると、報告の多い都道府県は、東京都（416例）、大阪府（390例）、福岡県（179例）、神奈川県（156例）、兵庫県（156例）、千葉県（144例）、宮城県（143例）、埼玉県（141例）、愛知県（138例）、石川県（117例）、熊本県（107例）であった（**図2**）。感染地域は国内が3,595例（99%）であり、国外が40例、国内か国外か不明が12例であった。

症状の有無別では有症者2,486例（68%）、無症状病原体保有者1,161例（32%）、性別では男性1,683例（46%）、女性1,964例（54%）であり、年齢群別では0～9歳1,315例（0～4歳823例、5～9歳492例）、20～29歳614例、10～19歳547例、30～39歳376例、50～59歳240例、40～49歳189例、60～69歳173例、70～79歳119例、80歳以上74例の順に多かった。また、30歳未満の年齢群では有症状者が多く、30～39歳及び40～49歳は無症状病原体保有者が多くなるが、50歳以上の年齢群では再び有症者が多くなる傾向が認められる（**図3**）。

分離された菌の血清型・毒素型は、O157 VT1・VT2（1,520例）、O157 VT2（1,018例）、O26 VT1（360例）、O111 VT1（99例）、O111 VT1・VT2（88例）、O157 VT1（83例）、O121 VT2（62例）、O103 VT1（62例）が多かった。

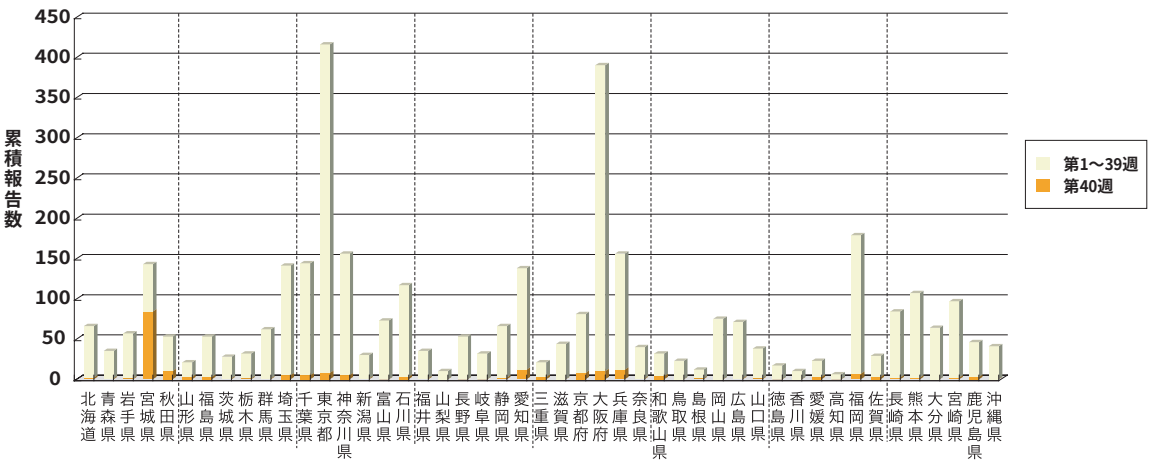


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別累積報告数（2007年第1～40週）

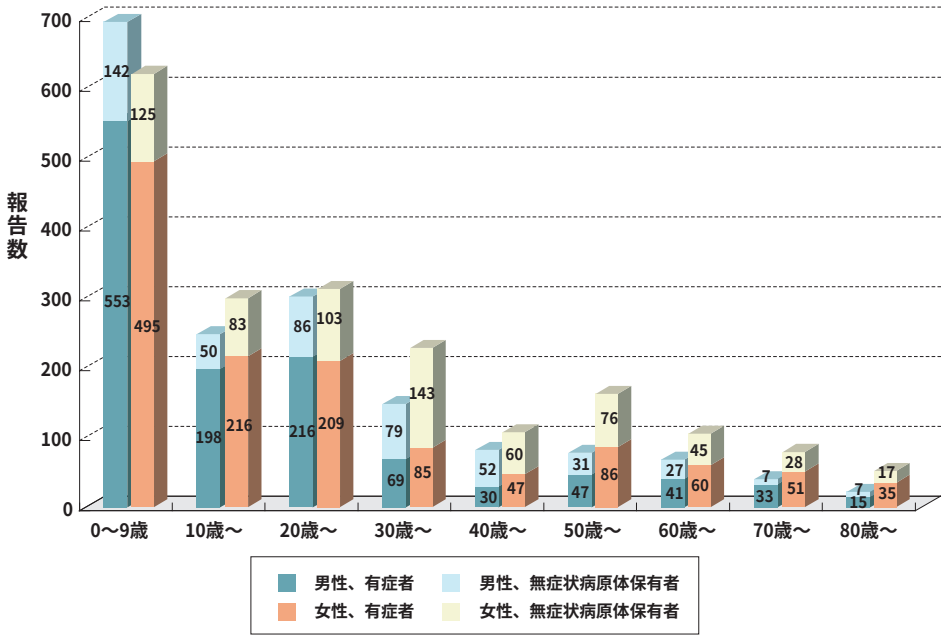


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の性別・年齢群別・症状の有無別報告数（2007年第1～40週）

溶血性尿毒症症候群（HUS）は、届け出時点以降の追加報告を含め、第40週までに106例が報告されている。106例の年齢群は、10歳未満84例、10～19歳8例、20～29歳5例、40～49歳1例、50～59歳2例、60～69歳3例、70～79歳1例、80歳以上2例であった。本疾患の届出の基準としては、大腸菌の分離・同定かつ分離菌におけるベロ毒素の確認が必要であるが、溶血性尿毒症症候群（HUS）発症例に限り、2006年4月からは、便からのベロ毒素の検出や血清抗体（O抗原凝集抗体あるいはベロ毒素抗体）の検出によって診断された場合も届け出の対象とされている。106例のうち34例は菌が分離されておらず、そのうち3例が便からのベロ毒素の検出、31例が血清抗体の検出による診断として届け出られたものである。死亡例は、届け出時点以降の追加報告により、第40週までに3例（3歳、50代、80代）報告されている。届け出時点以降でのHUSなどの合併症や死亡は十分反映されていない可能性があるので、発生があった場合には追加・修正報告していただくようお願いしている。

夏季を過ぎ一旦減少傾向に向かった腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、第40週に大規模な食中毒の発生の影響から、再び大きく増加した。本年はこれまでに、食中毒による集団発生として、本事例と6月に発生した100例を超える大規模な2つの事例がみられているほか、地域の飲食店での集団発生も散見される。また、保育施設における二次感染を中心とした集団発生も多数認められている。今後も本疾患の発生動向には引き続き注意が必要である。

食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。特に、保育施設における集団発生は多くみられており、腸管出血性大腸菌に限らない日ごろからの注意として、オムツ交換後の手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要である。また、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。さらに2006年には、動物とのふれあい体験での感染と推定される事例が報告されており、動物との接触後の充分な手洗いにも注意する必要がある。保健所などによる原因食材・食品の調査の際には、感染症対策部門と食品衛生部門が

連携することはもとより、食材・食品の流通の観点から都道府県を越えた発生拡大（Diffuse outbreak）も考慮し、必要に応じて関連自治体が協働して対応することも重要である。

（補）菌の検出状況については、http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html をご参照ください。

病原体情報

＊グラフはIASRホームページ（http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html）からの引用です。
　各都道府県市の地方衛生研究所（地研）からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

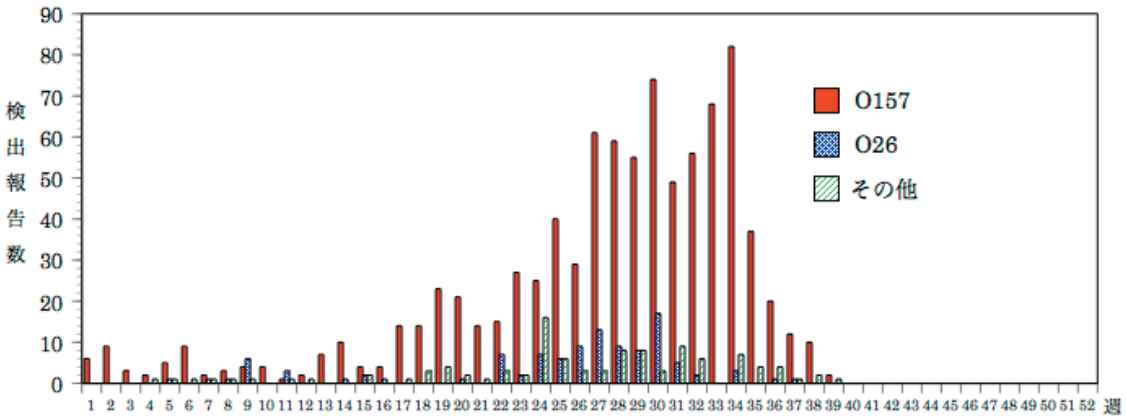
（2007年10月11日現在報告分）

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌　2007年

　2007年の検出総数は1,105件で、O157が36道府県から891件、O26が21府県から107件、その他の血清型が25都道府県から107件報告されている。

　直近の4週間（2007年第37～40週）では、O157が福岡県9件、富山県8件、茨城県、神奈川県各2件など7府県から24件、O26が福岡県から1件、その他の血清型が福岡県から3件、大阪府から1件報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2007年　（病原微生物検出情報：2007年10月11日現在報告数）

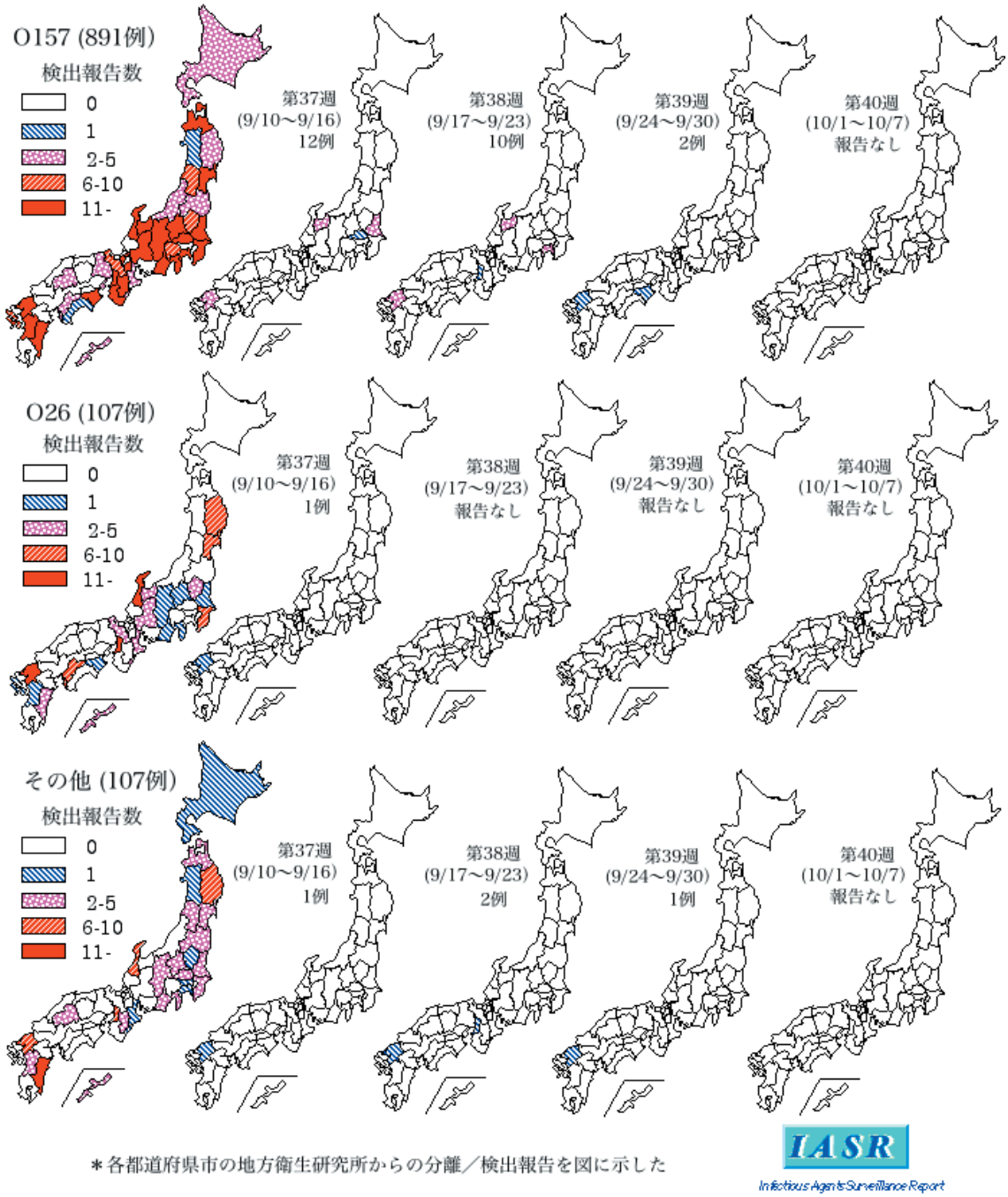


＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2007年

（病原微生物検出情報：2007年10月11日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

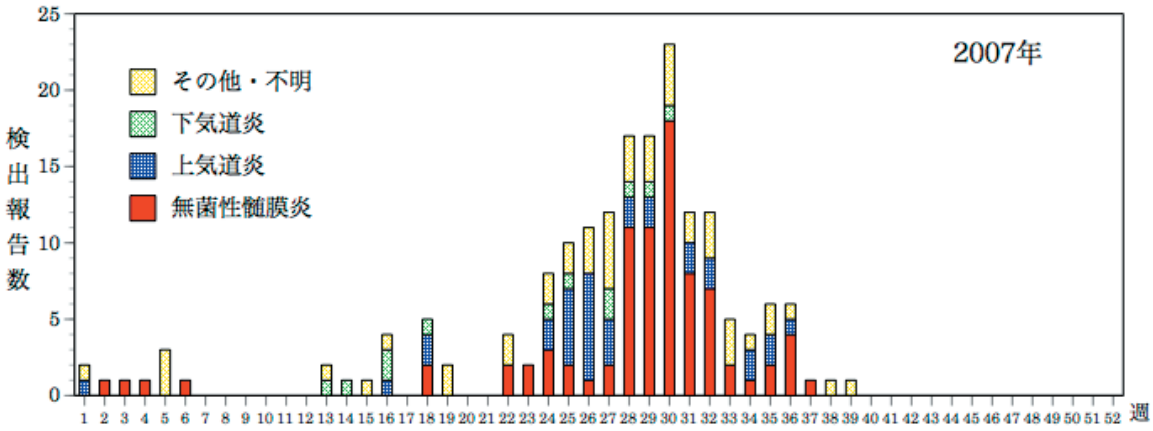
IASR
Infectious Agents Surveillance Report

◆B群コクサッキーウイルス5型　2007年

2007年は第24週以降報告が増加している。香川県54件、愛知県30件、千葉県17件、奈良県15件、兵庫県8件、神奈川県7件、山形県、新潟県各6件など22都府県から計176件の検出が報告されている。検出例の診断名は無菌性髄膜炎83件、上気道炎34件、下気道炎12件、インフルエンザ様・かぜ症候群等9件、感染性胃腸炎9件、手足口病、ヘルパンギーナ、不明熱各4件、咽頭結膜熱、熱性けいれん各3件、その他・不明11件が報告されている。

週別Coxsackievirus B5分離・検出報告数、2007年

（病原微生物検出情報：2007年10月11日現在報告数）

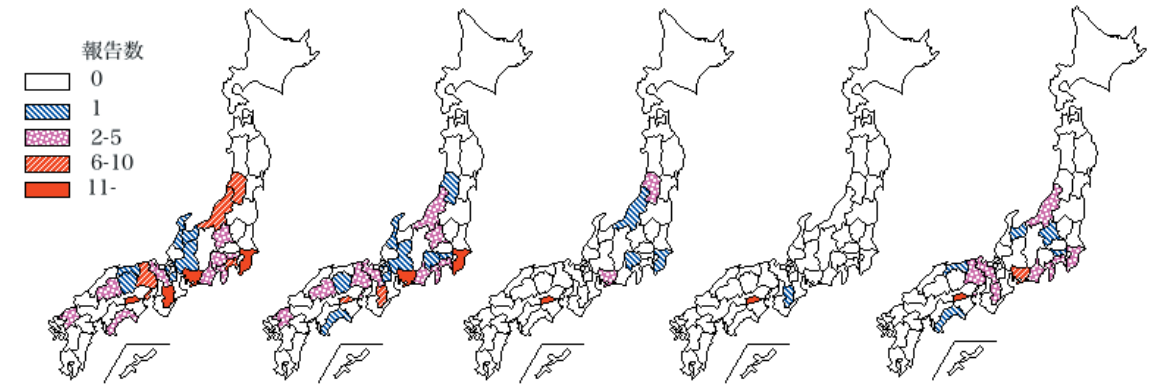


＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別診断名別Coxsackievirus B5分離・検出報告状況、2007年

（病原微生物検出情報：2007年10月11日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR Infectious Agents Surveillance Report

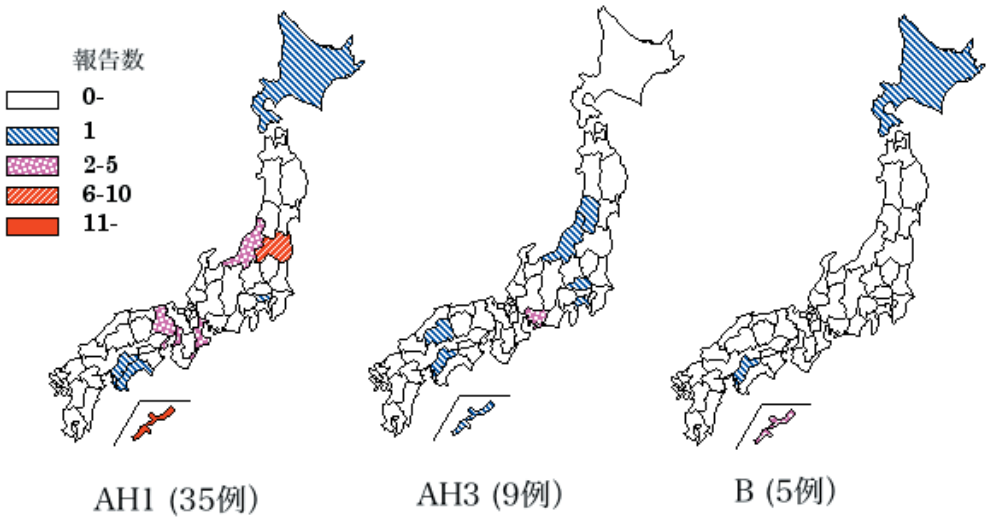
◆インフルエンザウイルス　2007/08シーズン

2007/08シーズンに入り第37週にAH3亜型が愛知県で2件分離されている。

2007年6月以降（第23～35週）の夏季にAH1亜型が沖縄県12件、福島県6件、三重県5件など10都道府県から35件、AH3亜型が7県から7件、B型が3道県から5件検出された。このうち、AH1亜型4件（タイ3件家族例、シンガポール・マレーシア・タイ1件）、AH3亜型3件（アラブ首長国連邦、カンボジア、中国各1件）は海外渡航後に検出された。

2006/07シーズンに検出されたインフルエンザウイルスはAH3亜型が2,287件、B型が2,042件、AH1亜型614件報告され、3つの型ともに報告数は第9週がピークであった。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2007年23週～40週
（病原微生物検出情報：2007年10月11日現在報告数）

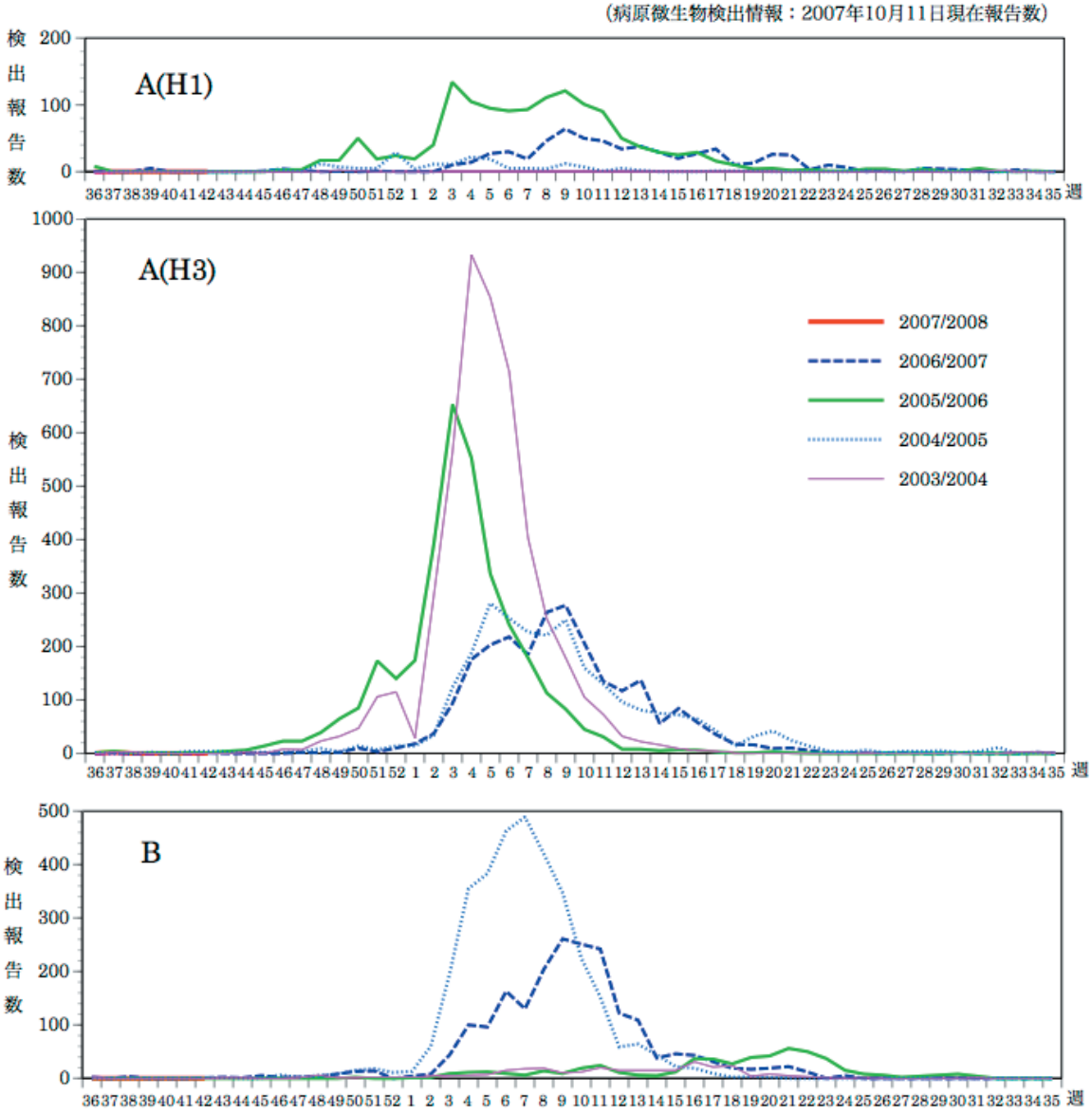


＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、過去4シーズンとの比較

（病原微生物検出情報：2007年10月11日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

速報

◆中国への研修旅行帰国後、細菌性赤痢感染が判明した学生グループの事例－新潟市

1. はじめに

新潟市内の大学における中国へのグループ研修旅行帰国後、参加者の一部が細菌性赤痢に感染していたことが判明した事例を経験し、注目すべき点が幾つかあったので報告する。

2. 赤痢同定までの経過

2007(平成19)年8月、市内の大学生24名が引率教官1名と4泊5日の中国研修旅行へ出かけ、旅行中、数名が下痢症状をきたし、教官が内服薬を与え、症状軽快後、帰国した(以後、帰国日をA日とする)。A＋3日、学生1名が、下痢、嘔吐で医療機関を受診した。医師から情報提供をうけた保健所は、受診した学生と引率教官に連絡し、有症状者の医療機関受診や保健所での便検査を勧奨した。A＋5日、1名の学生が保健所で検便を受け、A＋7日、細菌性赤痢(*Shigella sonnei*)と判明した。なお、この学生は帰国後下痢症状があったが、自然軽快したため医療機関は受診していなかった。

3. 患者同定後の保健所の対応と経過

保健所は全参加者の調査および検便を行った。県へも情報提供を行い、市外在住者については当該地域を管轄する保健所に調査および検便を依頼した。調査の結果、旅行中もしくは帰国後に、ほとんどの学生が下痢などの症状があり、数名は既に抗菌薬内服などの治療を受けていたことが判明した。また、多くの学生が帰国後アルバイトや他の集団活動を行っていた。保健所は、旅行参加者とその帰国後濃厚接触者、アルバイト先の従業員(食品関係)などに検便を行い、帰国後A＋1日より1週間ほど下痢症状が続いていた旅行参加者1名から赤痢菌(*S. sonnei*)が新たに検出された。最終的には、旅行参加者24名と帰国後の接触者73名の検便、周辺の健康確認を行ったが、それ以上の患者発生はなかった。

4. 本事例の注目すべき点

今回の事例を通じ、以下の点で注意や改善が必要と考えられた。

(1)研修参加者が、帰国時に下痢症があった旨の検疫申告を行わなかったこと。

(2)各学生が症状を自覚していたにもかかわらず、感染拡大についての意識が低く、食品関係等のアルバイトを続けたこと。

これらについては大学へ今後の指導徹底をお願いしたが、(1)については、空港において健康検疫申告の必要性が旅行者に十分伝わっておらず、また、自己申告制のため申告が行いにくい状況になっている可能性があることも原因と考えられる。また、下痢症状の申告があったとしても、検疫では今般の検疫法改正により下痢症患者に対する検便検査の法的根拠が無くなり、速やかに検便が行えなくなっている。従って、医療機関や検査機関を受診するまでの間、国内に赤痢などの患者が入ることになり、二次感染の機会が増大することが懸念される。今後は検疫所と医療機関および地域自治体との連携などにより、できるだけ速やかな検便体制を構築する必要がある。(2)については、アルバイト先の従業員管理の問題もある。アルバイトの従業員まで管理が行き届かず、動向(海外旅行)把握と体調の確認をしていないか、報告をうけても現場の感染症に対する意識が低く、就業時に症状が無ければそのまま仕事を続けさせていた業者もあった。

なお、大学は夏季休暇中にもかかわらず情報入手後速やかに保健所と連携をとって本事例に対応し、保護者説明会や公表（記者会見）を行った。大学の公表を受け、地元新聞には海外旅行帰国時の検疫申請に対する注意喚起を促す記事が掲載された。

5. 最後に

今回の事例では、幸い二次感染は起きなかったが、広域感染に発展するリスクは十分あったと考えられる。近年、修学旅行や海外研修など学校行事として学生が海外へ出かける機会は増加しており、輸入感染症対策について、海外での生活、症状が出た場合の対応、帰国時の検疫申告などについて、学校における指導の徹底をお願いしたい。また、飲食店や食品を扱う業者、介護関係の施設などに対しては、今回のような状況があることについてあらためて注意を促したい。

今後は学生だけではなく、海外研修を行う企業や一般旅行者なども対象に、より広く啓発を行い、社会全体として輸入感染症のリスクの認識を向上させるとともに、検疫所や医療機関と具体的に連携体制の強化を図るなど、感染拡大の防止に努める体制が構築されるよう、行政としても取り組む必要があると考えられた。

新潟市保健所　山崎　哲　石沢幸子　竹内　裕
新潟市衛生環境研究所　江口ヒサ子　棚橋定衛

（IASR 2007年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照）

海外感染症情報

＊関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ（http://www.forth.go.jp/）をご覧下さい。

●インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR　2007年10月12日－更新19

インドネシア保健省は、新たな鳥インフルエンザA/H5N1亜型感染患者1名を発表した。

Banten州Tangerang地区の12歳男児が、9月30日に発症し、現在治療中である。対策チームは、男児が発病前に学校の近くで死亡した鶏を直に触ったことを明らかにした。

インドネシアでは、現在までに感染が確認された109名のうち87名が死亡している。

感染症の話

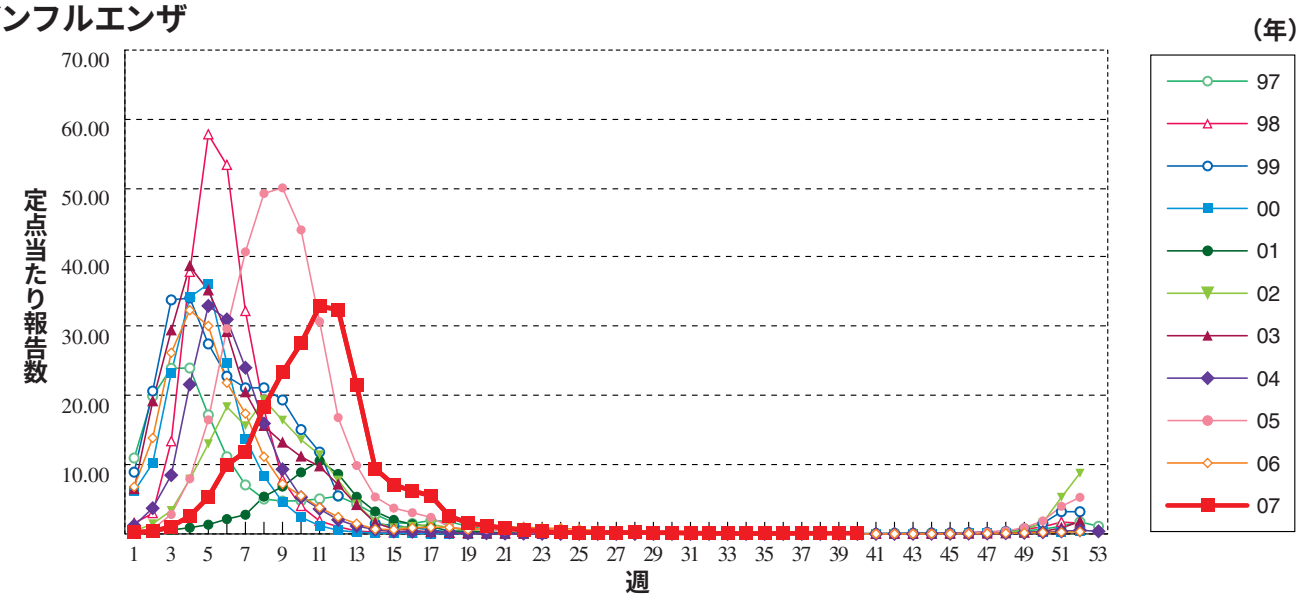
****

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html
でご覧いただけます。

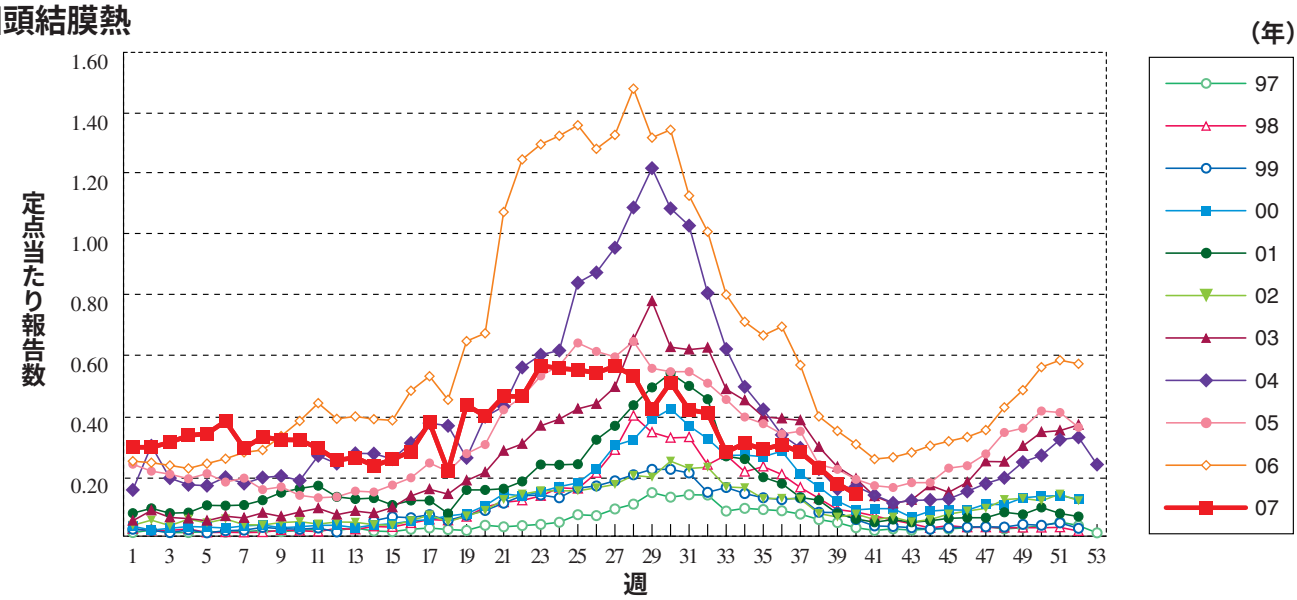
****

グラフ総覧(40週)

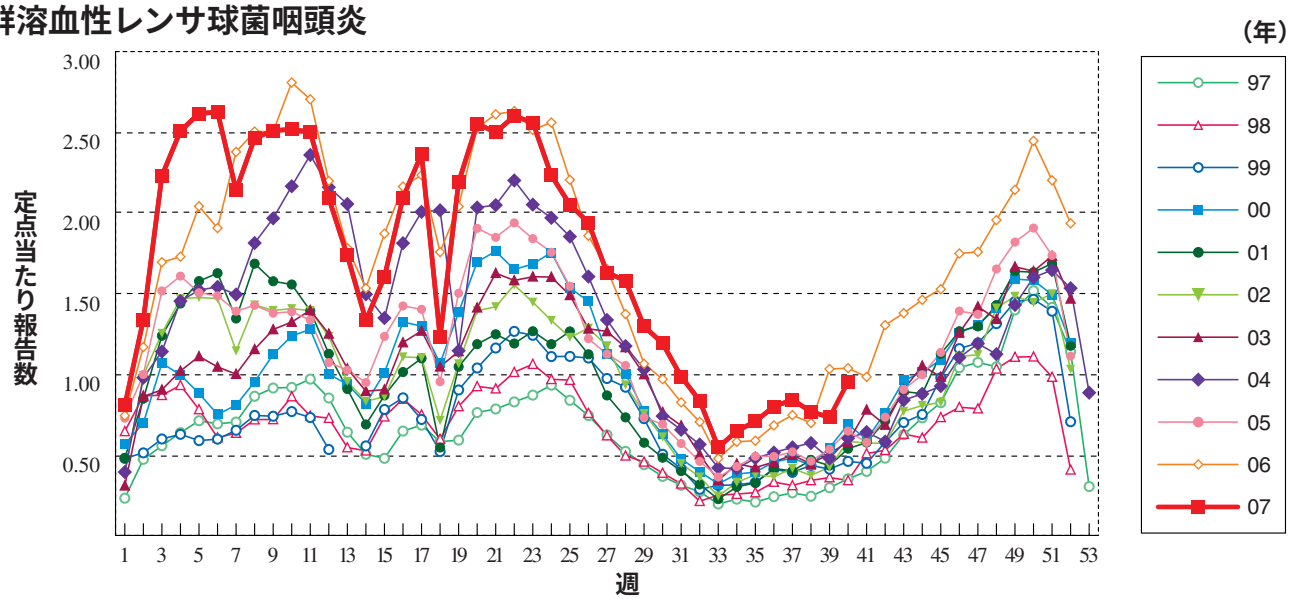
インフルエンザ



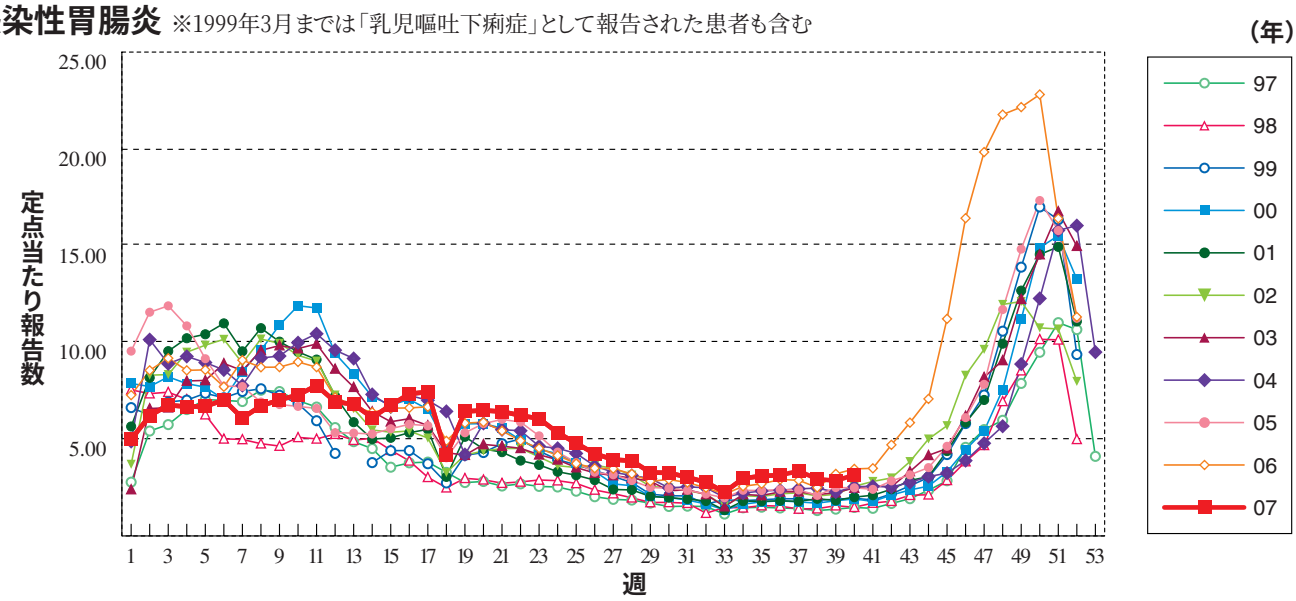
咽頭結膜熱



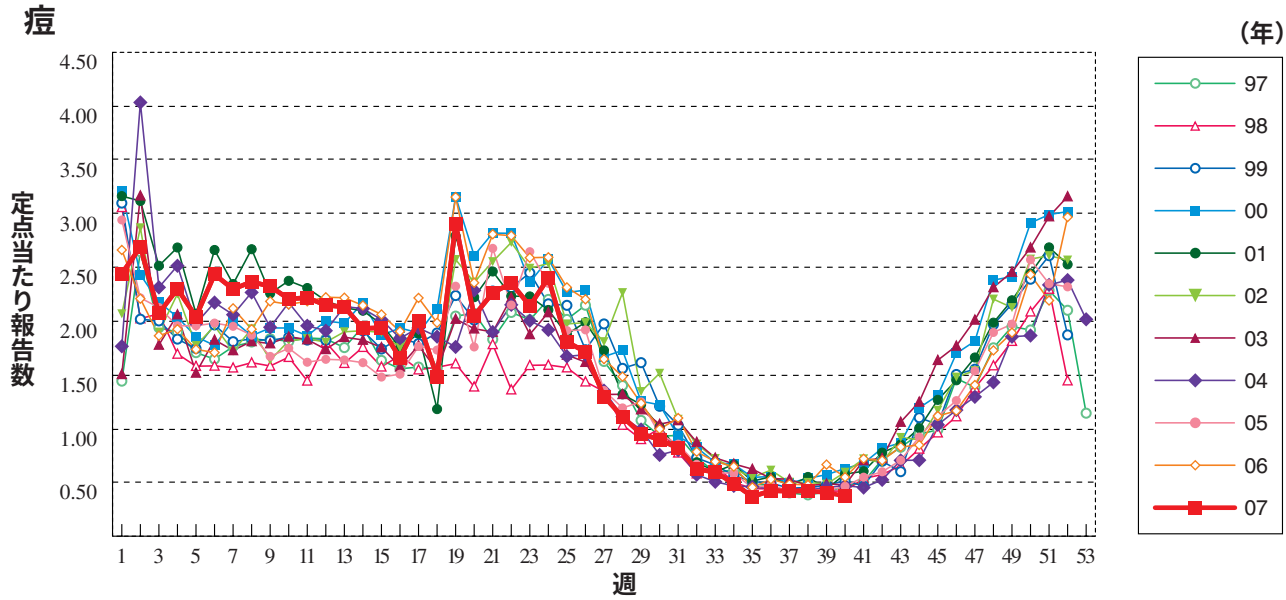
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



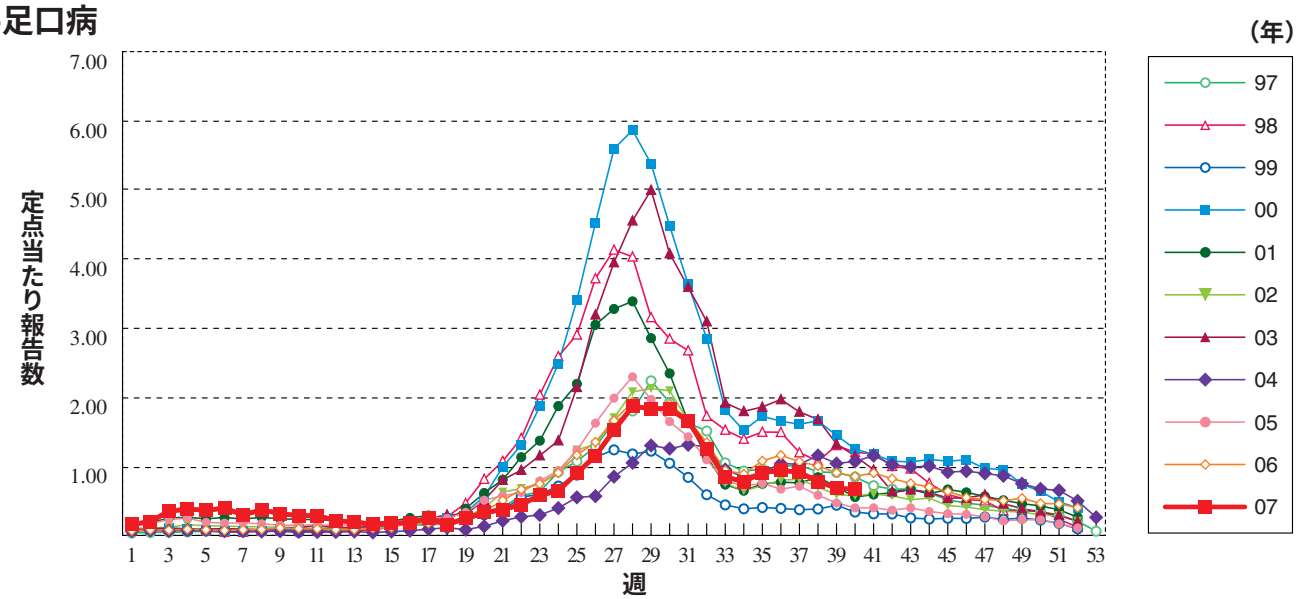
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



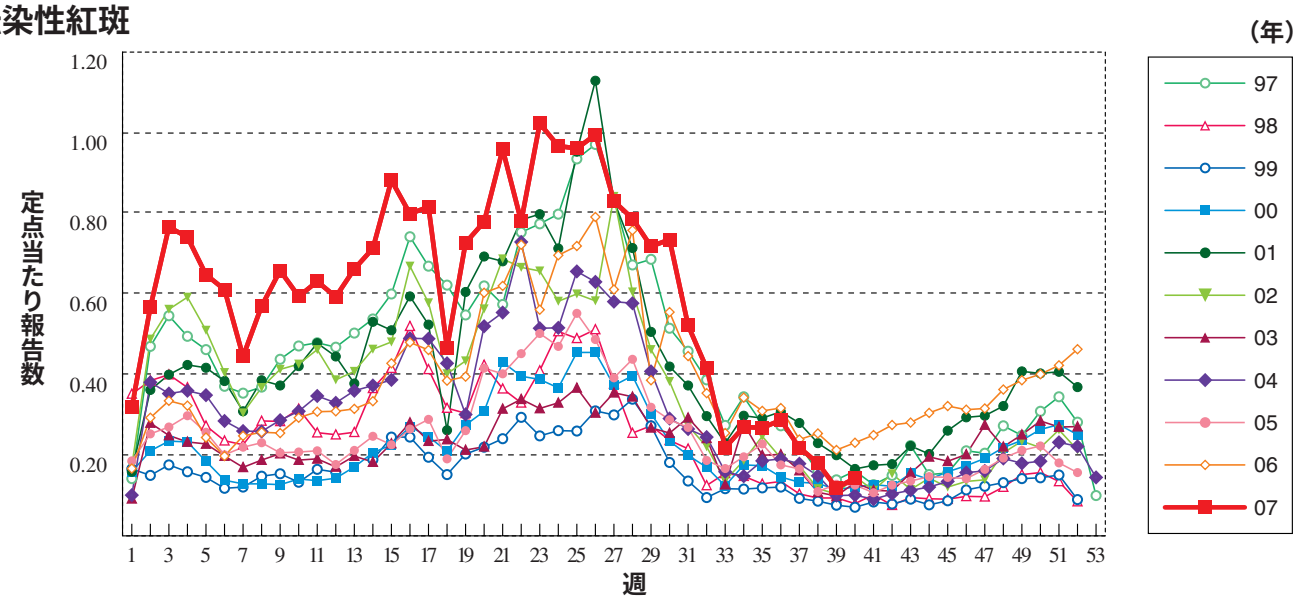
水　痘



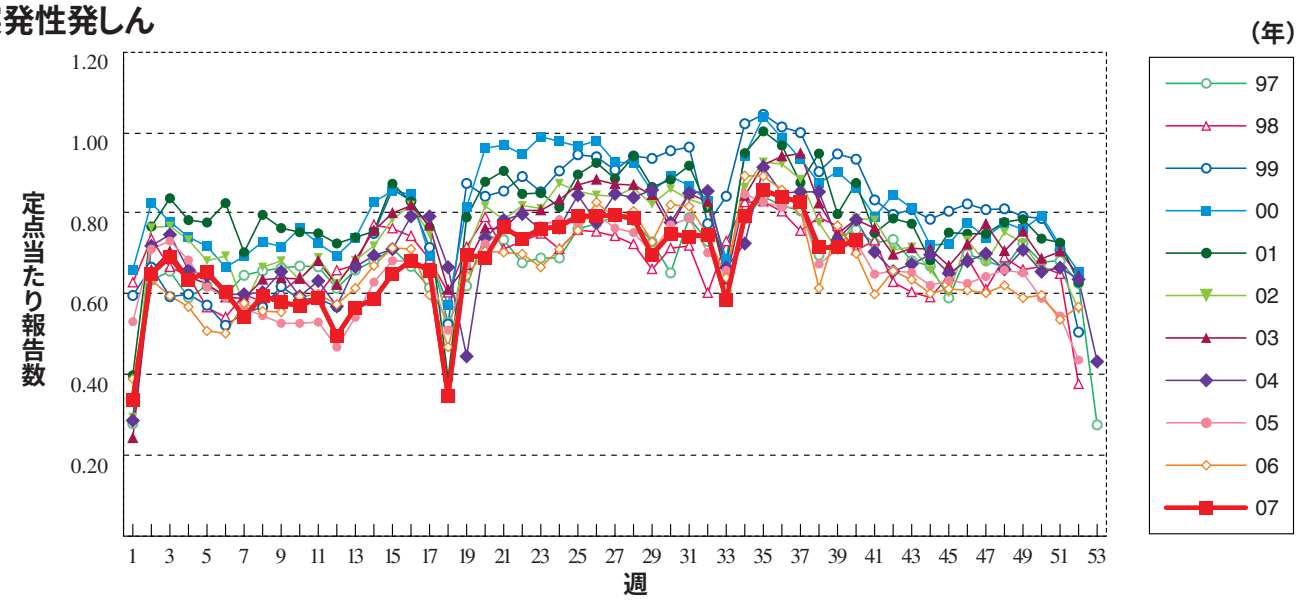
手足口病



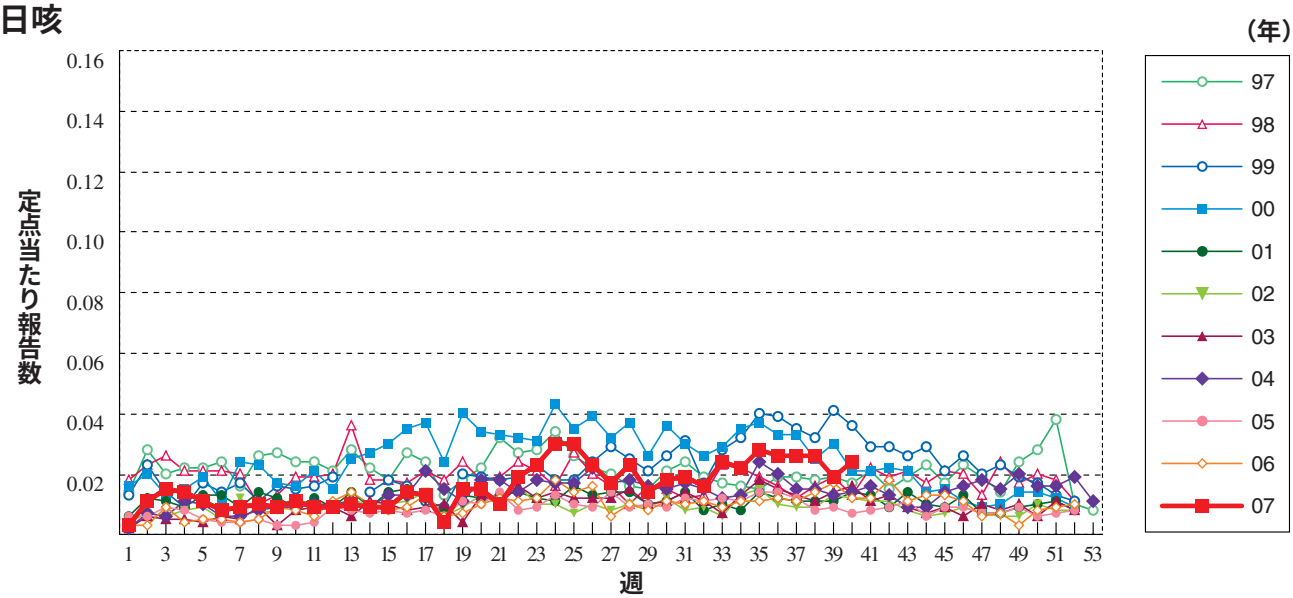
伝染性紅斑



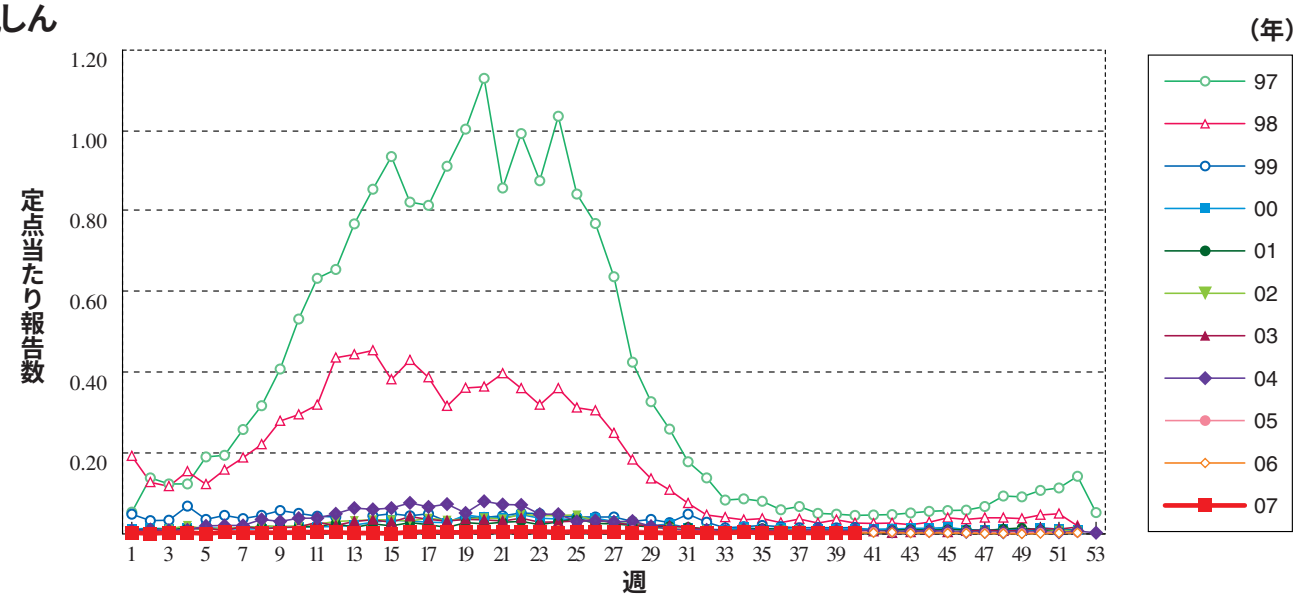
突発性発しん



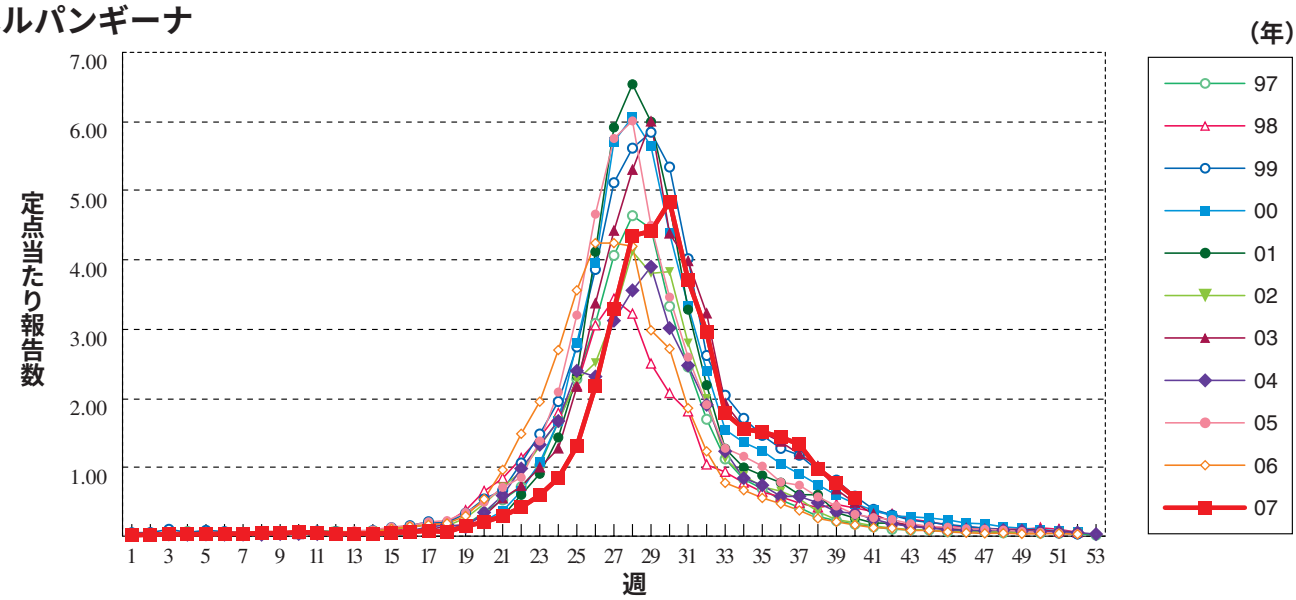
百日咳



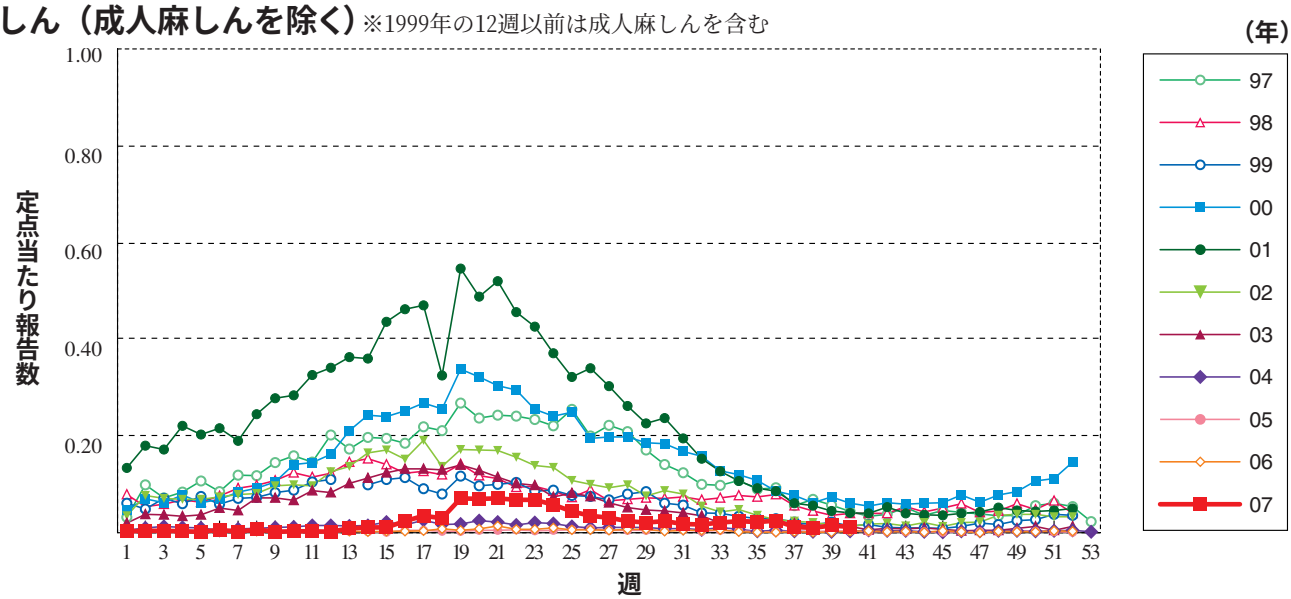
風しん



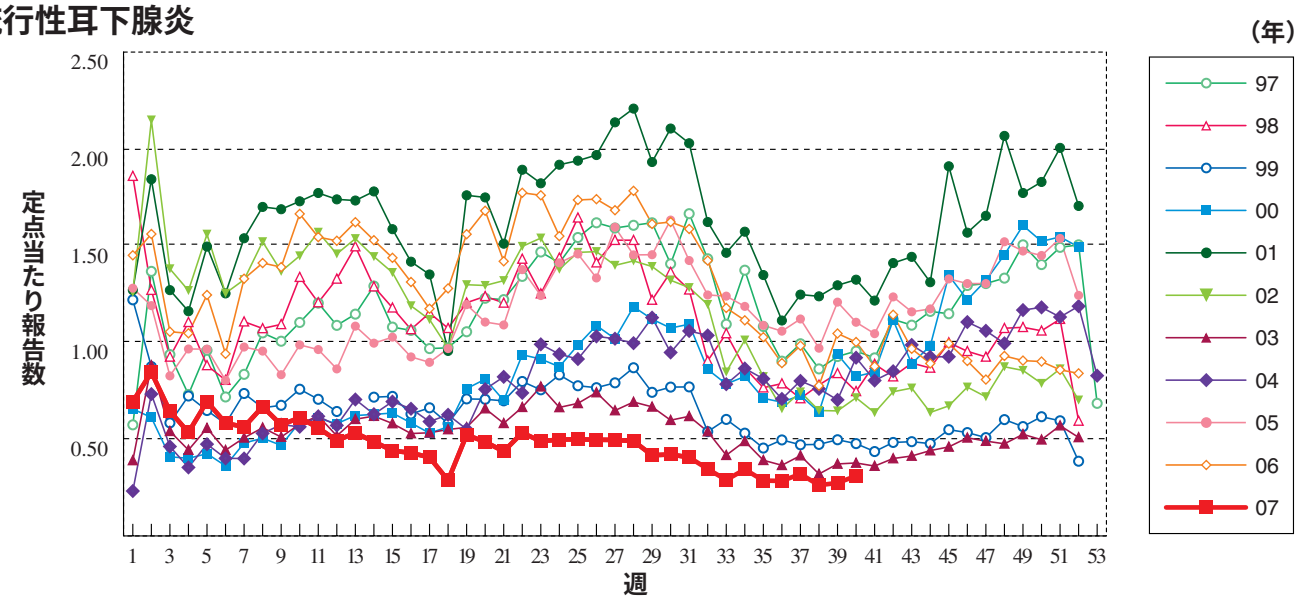
ヘルパンギーナ



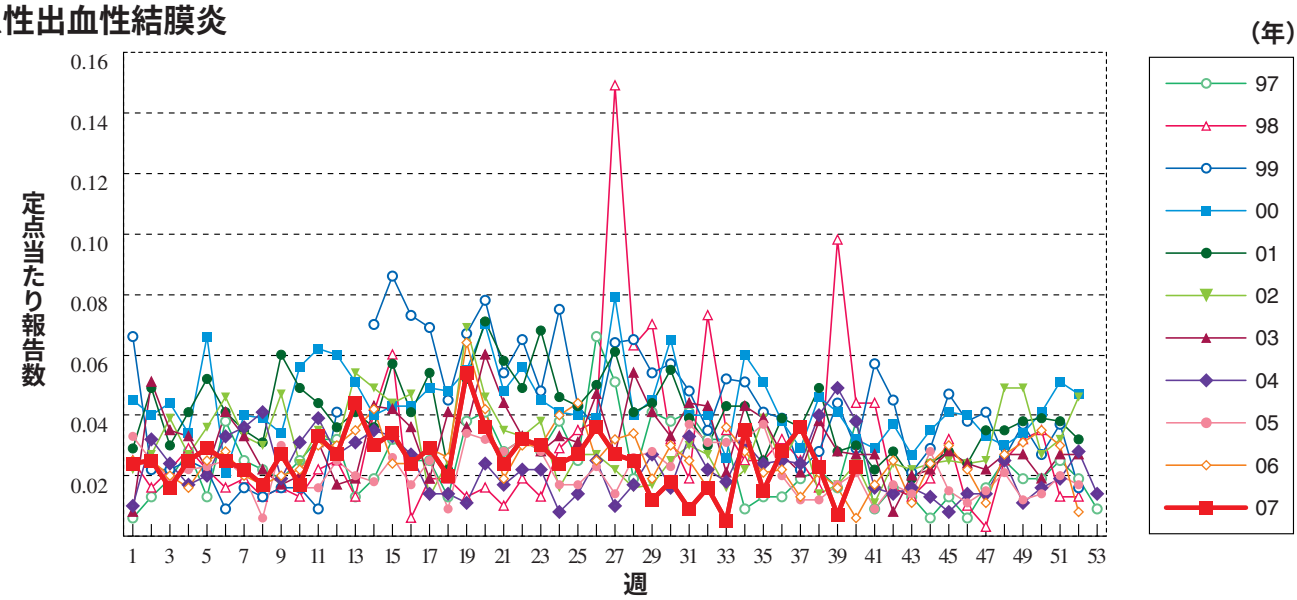
麻しん（成人麻しんを除く）※1999年の12週以前は成人麻しんを含む



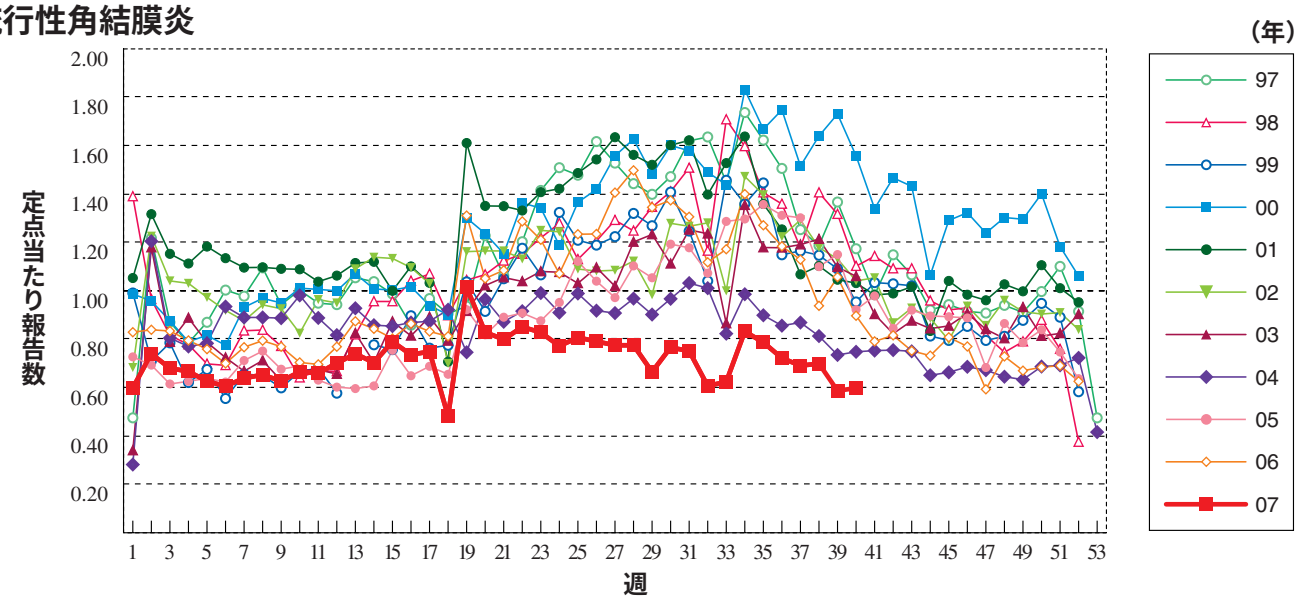
流行性耳下腺炎



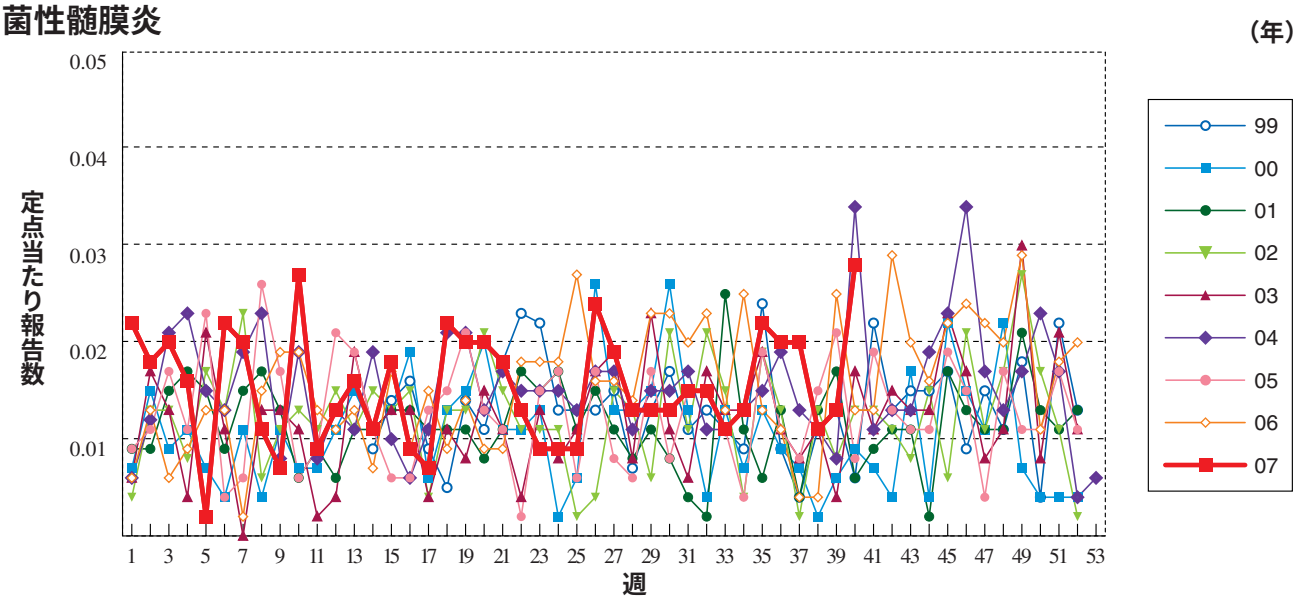
急性出血性結膜炎



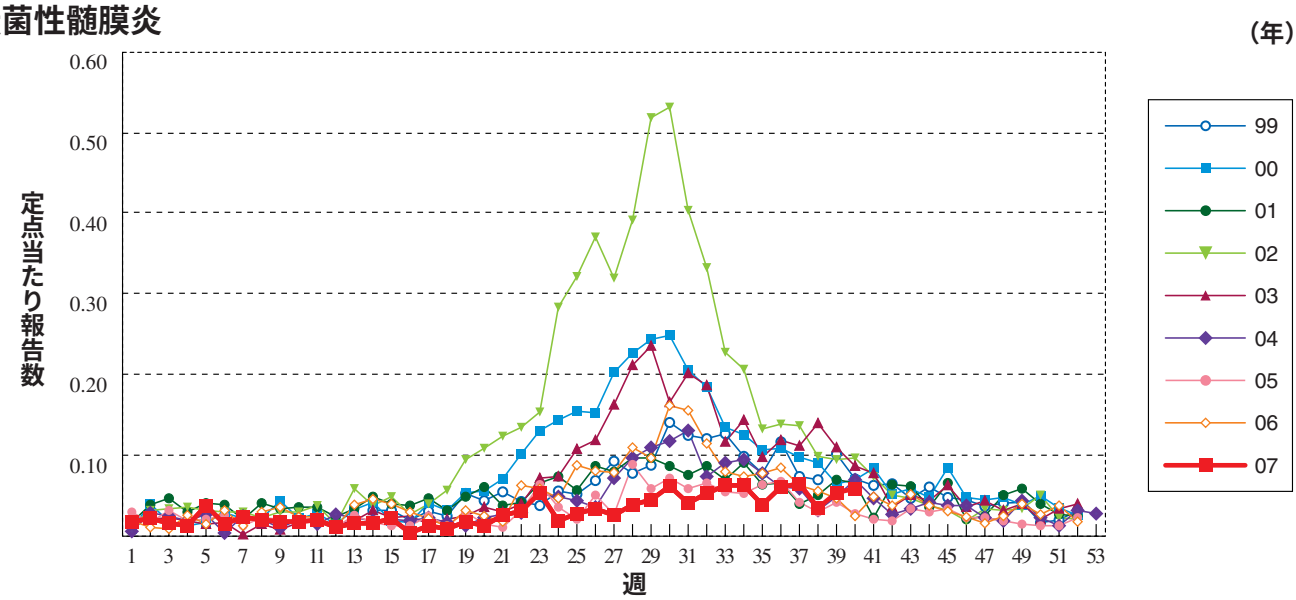
流行性角結膜炎



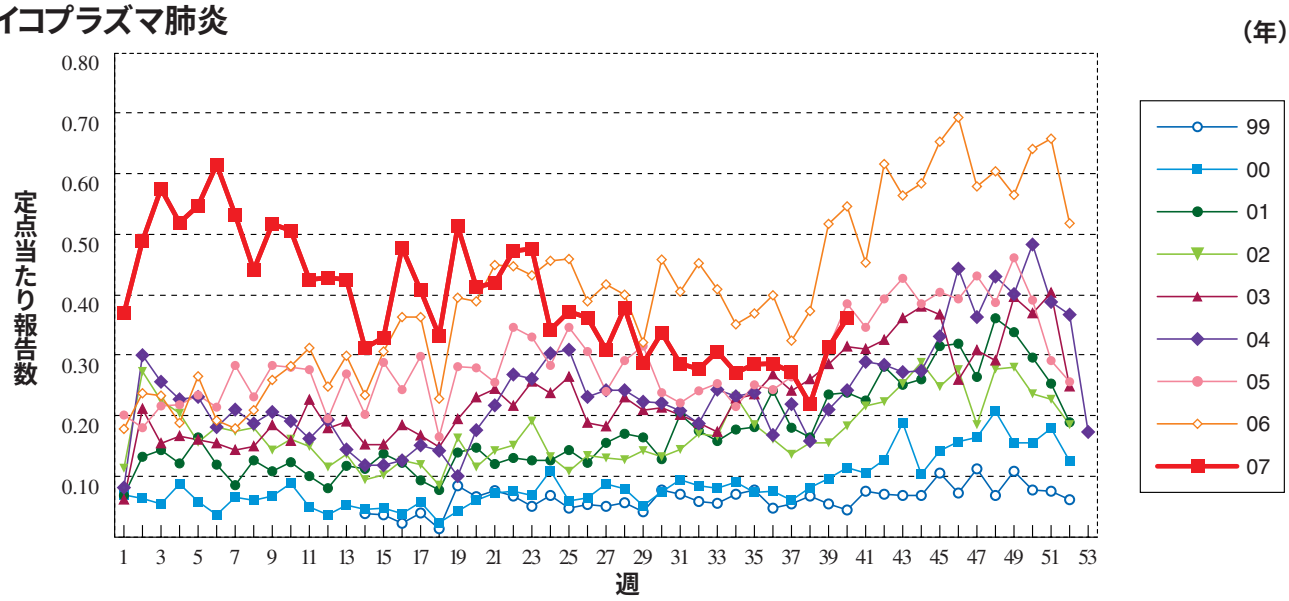
細菌性髄膜炎



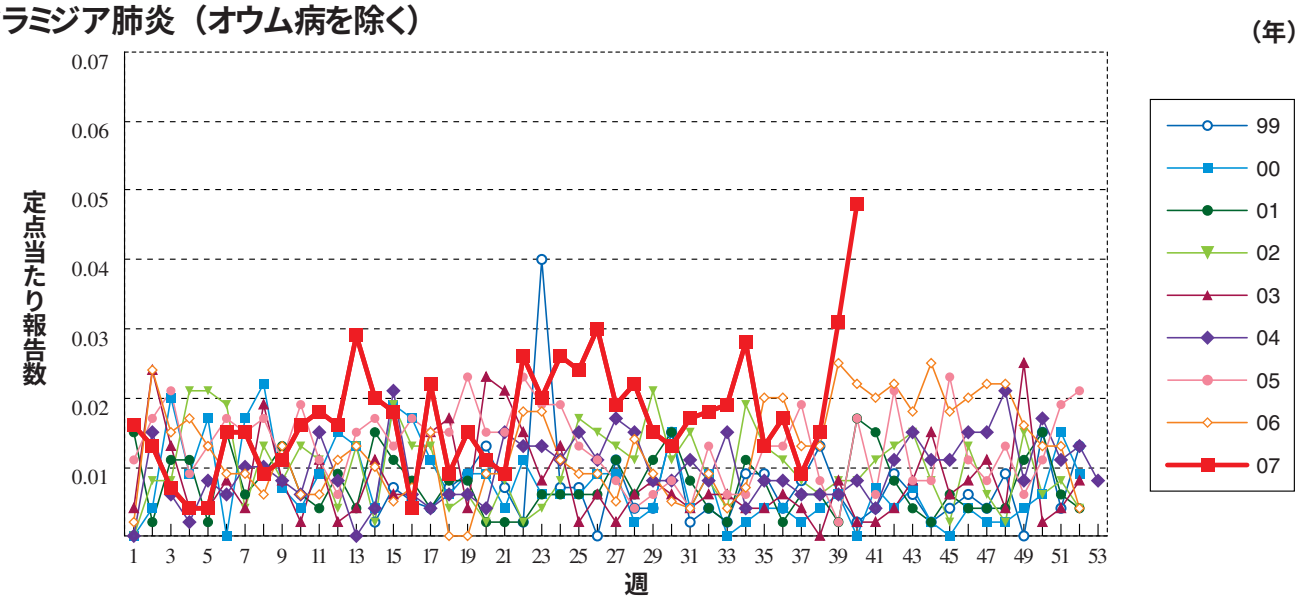
無菌性髄膜炎



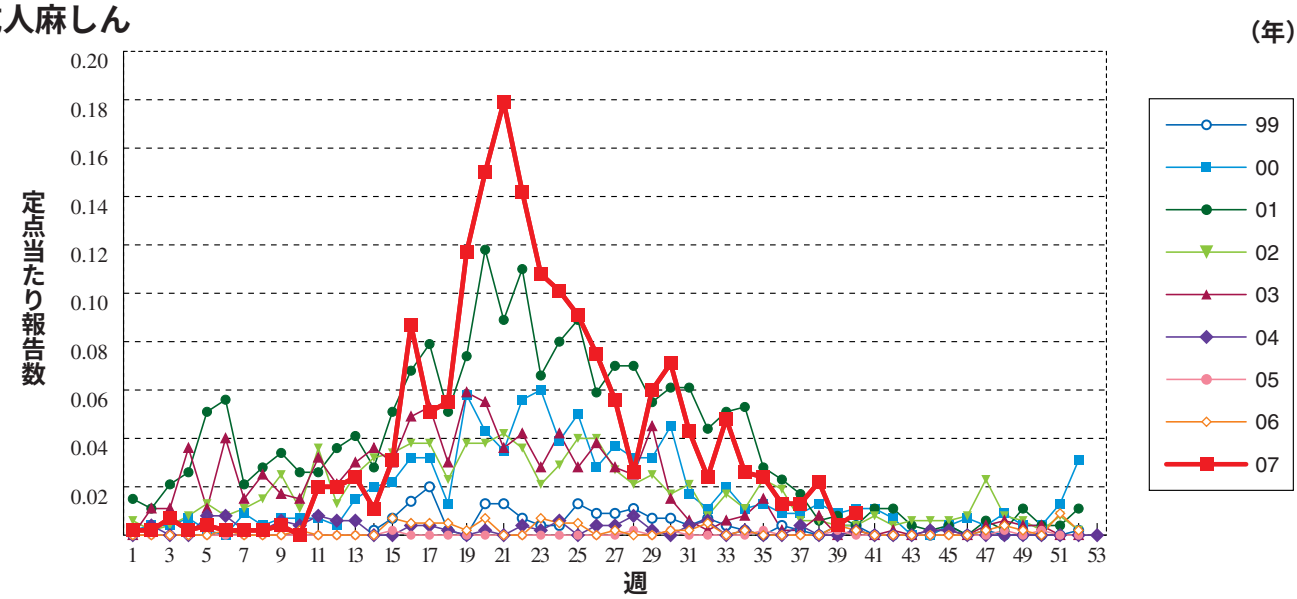
マイコプラズマ肺炎



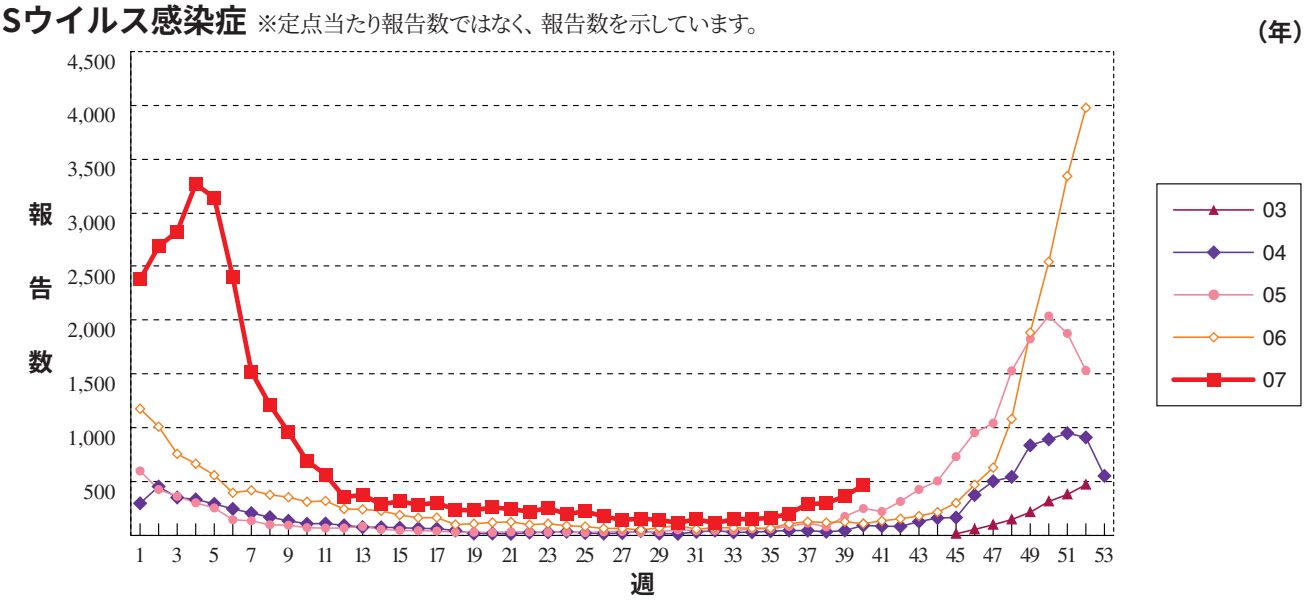
クラミジア肺炎（オウム病を除く）



成人麻しん



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



40週のデータ

注1）表中の報告数は10月11日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　　2007年40週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結核*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	227	10642
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	359
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	126
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	169
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	68
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	133
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	260
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	152
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	126
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	579
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	658
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	875
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	212
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	104
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	108
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	76
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	144
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	259
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	198
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	944
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	210
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	130
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	338
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	643
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	476
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	159
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	102
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	63
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	187
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	307
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	149
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	104
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	180
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	92
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	672
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	104
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	214
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	118
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	127
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	217
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年40週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	10	7	391	212	3647	3	37	-	15	-	44	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	6	2	66	-	1	-	-	-	9	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	2	1	35	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	57	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	84	143	-	1	-	2	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	4	10	53	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	3	21	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	1	3	53	-	2	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	4	1	28	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	1	1	32	-	-	-	1	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	62	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	60	5	141	-	3	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	36	5	144	-	1	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	3	69	8	416	1	10	-	3	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	18	5	156	-	-	-	2	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	4	1	30	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	117	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	35	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	53	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	29	2	66	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	25	12	138	1	3	-	-	-	7	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	2	3	21	-	1	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	44	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	6	8	81	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	1	50	10	390	-	8	-	1	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	6	12	156	1	4	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	40	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	4	32	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	75	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	16	1	71	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	1	38	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	3	23	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	7	179	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	3	29	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	84	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	107	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	64	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	2	97	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	46	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年40週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサヌル森林病		Q 熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	121	-	13	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
北海道	-	6	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	17	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	9	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年40週

	コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98	1	72	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年40週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	55	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年40週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野兎病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	2	-	38	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年40週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	11	486	-	19	-	-	4	596	2	176	-	178	-	6	2	112	1	79
北海道	-	21	-	-	-	-	-	17	-	5	-	5	-	-	-	2	1	6
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	11	-	-	-	-	-	23	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	1	9	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	-	-	2
福島県	-	8	-	-	-	-	1	5	-	2	-	3	-	-	-	1	-	1
茨城県	1	14	-	-	-	-	-	10	-	2	-	8	-	-	-	1	-	3
栃木県	-	4	-	1	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	9	-	-	-	-	-	4	-	4	-	3	-	-	-	5	-	-
埼玉県	2	25	-	-	-	-	-	22	-	1	-	9	-	-	-	4	-	4
千葉県	-	16	-	-	-	-	-	23	-	-	-	14	-	-	-	6	-	3
東京都	1	44	-	3	-	-	-	133	1	32	-	16	-	1	-	10	-	5
神奈川県	-	34	-	1	-	-	1	60	-	7	-	5	-	1	1	8	-	11
新潟県	1	11	-	1	-	-	-	2	-	-	-	6	-	1	-	5	-	1
富山県	-	11	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1	-	1
石川県	-	11	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	5	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	10	-	-	-	-	1	11	-	2	-	3	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	14	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	24	-	1	-	-	-	17	-	2	-	2	-	-	-	3	-	1
愛知県	4	30	-	-	-	-	1	36	-	6	-	2	-	-	-	5	-	5
三重県	-	7	-	-	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	6	-	-	-	-	-	9	-	1	-	2	-	-	-	4	-	-
京都府	-	13	-	-	-	-	-	18	-	7	-	5	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	29	-	-	-	-	-	65	-	19	-	27	-	-	-	6	-	4
兵庫県	1	18	-	-	-	-	-	28	-	13	-	10	-	-	-	8	-	2
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	5	-	3	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	2
岡山県	-	7	-	-	-	-	-	5	-	13	-	1	-	-	-	1	-	3
広島県	-	20	-	-	-	-	-	8	-	9	-	2	-	1	-	3	-	4
山口県	-	6	-	-	-	-	-	4	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1
愛媛県	-	6	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	1	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	5	-	1
福岡県	-	15	-	1	-	-	-	23	-	7	-	6	-	1	-	3	-	2
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	1	-	2	-	-	-	5	-	2	-	17	-	-	-	1	-	2
鹿児島県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	2	-	3
沖縄県	-	4	-	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年40週

	後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		インフルエンザ（H5N1）	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	12	1109	1	39	-	13	-	-	10	532	2	73	-	-	3	58	-	-
北海道	-	16	-	-	-	-	-	-	-	10	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2	-	-
岩手県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	10	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	15	-	-	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	1	1	-	-
群馬県	1	18	-	-	-	1	-	-	-	6	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	24	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	42	-	3	-	1	-	-	-	19	-	4	-	-	-	-	-	-
東京都	7	366	-	13	-	2	-	-	5	113	-	1	-	-	-	12	-	-
神奈川県	-	74	-	7	-	-	-	-	1	33	-	3	-	-	1	14	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	16	-	1	-	-	-	-	1	13	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	-	31	-	-	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	-	3	-	-
愛知県	1	104	-	1	-	1	-	-	-	50	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	12	-	1	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	14	-	1	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	2	-	-
大阪府	1	140	-	6	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	1	23	1	1	-	1	-	-	-	10	-	1	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	16	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	31	-	-	-	1	-	-	-	31	-	2	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	8	-	-	-	-	-	-	2	39	1	6	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	1	-	-	1	14	-	4	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	22	-	-	-	1	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別　2007年40週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水　痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百　日　咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総　数	465	0.10	416	0.14	2849	0.95	9447	3.16	1120	0.37	2005	0.67	429	0.14	2200	0.74	73	0.02
北海道	-	-	12	0.08	248	1.73	202	1.41	100	0.70	139	0.97	32	0.22	75	0.52	1	0.01
青森県	-	-	3	0.07	52	1.24	48	1.14	24	0.57	53	1.26	5	0.12	14	0.33	-	-
岩手県	-	-	-	-	32	0.82	60	1.54	18	0.46	92	2.36	17	0.44	19	0.49	-	-
宮城県	4	0.04	4	0.07	41	0.68	146	2.43	39	0.65	180	3.00	17	0.28	55	0.92	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	34	0.97	66	1.89	15	0.43	43	1.23	15	0.43	14	0.40	-	-
山形県	-	-	4	0.13	39	1.30	101	3.37	7	0.23	45	1.50	9	0.30	26	0.87	5	0.17
福島県	1	0.01	8	0.17	57	1.19	107	2.23	21	0.44	61	1.27	3	0.06	31	0.65	-	-
茨城県	2	0.02	5	0.07	129	1.72	153	2.04	19	0.25	37	0.49	2	0.03	24	0.32	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	46	0.98	80	1.70	14	0.30	14	0.30	3	0.06	40	0.85	3	0.06
群馬県	-	-	5	0.08	42	0.69	191	3.13	25	0.41	9	0.15	6	0.10	39	0.64	-	-
埼玉県	3	0.01	25	0.16	261	1.69	582	3.78	62	0.40	65	0.42	25	0.16	120	0.78	1	0.01
千葉県	1	0.01	4	0.03	117	0.98	293	2.46	32	0.27	96	0.81	24	0.20	114	0.96	10	0.08
東京都	32	0.11	45	0.30	154	1.04	563	3.80	45	0.30	99	0.67	16	0.11	117	0.79	11	0.07
神奈川県	11	0.04	17	0.09	164	0.87	598	3.18	62	0.33	97	0.52	27	0.14	160	0.85	2	0.01
新潟県	-	-	9	0.15	44	0.72	90	1.48	44	0.72	47	0.77	34	0.56	41	0.67	2	0.03
富山県	-	-	9	0.31	35	1.21	127	4.38	10	0.34	8	0.28	5	0.17	16	0.55	-	-
石川県	-	-	6	0.21	23	0.79	107	3.69	18	0.62	4	0.14	3	0.10	23	0.79	-	-
福井県	-	-	6	0.27	22	1.00	117	5.32	7	0.32	1	0.05	11	0.50	12	0.55	-	-
山梨県	3	0.08	4	0.17	13	0.54	27	1.13	4	0.17	5	0.21	-	-	7	0.29	-	-
長野県	-	-	8	0.15	71	1.29	119	2.16	16	0.29	23	0.42	8	0.15	29	0.53	-	-
岐阜県	-	-	7	0.13	19	0.36	69	1.30	10	0.19	17	0.32	1	0.02	27	0.51	2	0.04
静岡県	17	0.14	7	0.08	59	0.69	357	4.15	23	0.27	35	0.41	12	0.14	61	0.71	-	-
愛知県	50	0.26	9	0.05	169	0.93	473	2.61	46	0.25	69	0.38	14	0.08	118	0.65	4	0.02
三重県	-	-	8	0.18	21	0.47	201	4.47	6	0.13	23	0.51	20	0.44	37	0.82	1	0.02
滋賀県	-	-	2	0.06	11	0.34	148	4.63	5	0.16	6	0.19	2	0.06	24	0.75	5	0.16
京都府	-	-	10	0.14	35	0.47	259	3.50	21	0.28	16	0.22	3	0.04	43	0.58	-	-
大阪府	-	-	37	0.20	251	1.36	603	3.26	71	0.38	75	0.41	14	0.08	116	0.63	8	0.04
兵庫県	-	-	13	0.10	67	0.52	474	3.67	37	0.29	22	0.17	10	0.08	119	0.92	3	0.02
奈良県	-	-	-	-	14	0.40	72	2.06	11	0.31	10	0.29	2	0.06	15	0.43	-	-
和歌山県	-	-	-	-	13	0.42	59	1.90	6	0.19	16	0.52	4	0.13	19	0.61	1	0.03
鳥取県	-	-	1	0.05	38	2.00	109	5.74	8	0.42	6	0.32	2	0.11	19	1.00	-	-
島根県	-	-	6	0.26	19	0.83	159	6.91	4	0.17	29	1.26	-	-	17	0.74	-	-
岡山県	4	0.05	9	0.17	48	0.89	154	2.85	21	0.39	6	0.11	5	0.09	26	0.48	-	-
広島県	-	-	22	0.31	41	0.57	340	4.72	28	0.39	17	0.24	4	0.06	64	0.89	3	0.04
山口県	-	-	7	0.14	61	1.24	207	4.22	12	0.24	22	0.45	6	0.12	50	1.02	3	0.06
徳島県	-	-	-	-	12	0.52	29	1.26	3	0.13	-	-	3	0.13	11	0.48	-	-
香川県	2	0.04	1	0.03	8	0.28	57	1.97	5	0.17	4	0.14	6	0.21	16	0.55	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	36	0.97	146	3.95	31	0.84	32	0.86	1	0.03	50	1.35	3	0.08
高知県	-	-	17	0.57	14	0.47	43	1.43	12	0.40	22	0.73	7	0.23	17	0.57	-	-
福岡県	-	-	28	0.23	81	0.68	468	3.90	65	0.54	206	1.72	12	0.10	123	1.03	2	0.02
佐賀県	-	-	6	0.26	21	0.91	56	2.43	2	0.09	12	0.52	2	0.09	30	1.30	-	-
長崎県	1	0.01	15	0.34	18	0.41	99	2.25	12	0.27	35	0.80	7	0.16	35	0.80	1	0.02
熊本県	-	-	8	0.17	27	0.56	196	4.08	16	0.33	18	0.38	4	0.08	50	1.04	-	-
大分県	-	-	8	0.22	50	1.39	256	7.11	33	0.92	71	1.97	9	0.25	36	1.00	1	0.03
宮崎県	1	0.02	7	0.19	46	1.28	300	8.33	17	0.47	15	0.42	9	0.25	53	1.47	-	-
鹿児島県	2	0.02	7	0.13	40	0.71	198	3.54	21	0.38	29	0.52	3	0.05	30	0.54	1	0.02
沖縄県	331	5.71	2	0.06	6	0.18	138	4.06	12	0.35	74	2.18	5	0.15	18	0.53	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年40週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん(成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	6	0.00	1661	0.55	40	0.01	929	0.31	15	0.02	394	0.60	13	0.03	27	0.06	166	0.36
北海道	-	-	193	1.35	4	0.03	16	0.11	-	-	8	0.28	-	-	-	-	13	0.57
青森県	-	-	39	0.93	-	-	9	0.21	-	-	5	0.45	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	54	1.38	-	-	15	0.38	-	-	3	0.25	-	-	-	-	8	0.40
宮城県	-	-	68	1.13	2	0.03	29	0.48	3	0.25	2	0.17	-	-	-	-	7	0.58
秋田県	-	-	33	0.94	-	-	27	0.77	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	41	1.37	-	-	4	0.13	-	-	4	0.50	-	-	-	-	3	0.30
福島県	-	-	49	1.02	-	-	6	0.13	1	0.08	5	0.42	-	-	-	-	19	2.71
茨城県	-	-	13	0.17	-	-	11	0.15	-	-	19	1.12	-	-	-	-	3	0.23
栃木県	-	-	20	0.43	1	0.02	20	0.43	-	-	4	0.33	2	0.29	4	0.57	2	0.29
群馬県	-	-	37	0.61	-	-	39	0.64	1	0.07	26	1.86	-	-	3	0.38	4	0.50
埼玉県	-	-	64	0.42	1	0.01	37	0.24	1	0.02	31	0.76	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	1	0.01	87	0.73	1	0.01	25	0.21	2	0.07	41	1.46	2	0.22	4	0.44	9	1.00
東京都	-	-	75	0.51	2	0.01	31	0.21	4	0.11	12	0.32	-	-	1	0.04	3	0.12
神奈川県	-	-	65	0.35	2	0.01	45	0.24	-	-	28	0.72	1	0.14	1	0.14	-	-
新潟県	1	0.02	89	1.46	-	-	49	0.80	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	4	0.33
富山県	1	0.03	6	0.21	-	-	5	0.17	-	-	2	0.29	-	-	-	-	9	1.80
石川県	-	-	6	0.21	-	-	1	0.03	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	5	0.23	-	-	6	0.27	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	10	0.42	-	-	2	0.08	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	42	0.76	-	-	16	0.29	-	-	2	0.18	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	15	0.28	-	-	13	0.25	-	-	2	0.18	-	-	1	0.20	-	-
静岡県	1	0.01	106	1.23	-	-	13	0.15	-	-	9	0.45	-	-	-	-	9	1.00
愛知県	-	-	80	0.44	-	-	54	0.30	-	-	2	0.06	-	-	-	-	7	0.47
三重県	-	-	24	0.53	-	-	11	0.24	-	-	4	0.33	-	-	-	-	3	0.33
滋賀県	-	-	12	0.38	-	-	10	0.31	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	1	0.14
京都府	-	-	27	0.36	-	-	11	0.15	-	-	3	0.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	43	0.23	3	0.02	55	0.30	1	0.02	15	0.34	1	0.10	2	0.20	7	0.70
兵庫県	-	-	38	0.29	2	0.02	60	0.47	-	-	8	0.23	1	0.10	-	-	-	-
奈良県	-	-	5	0.14	-	-	4	0.11	-	-	1	0.11	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	8	0.26	-	-	4	0.13	-	-	1	0.25	-	-	1	0.09	1	0.09
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	3	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	11	0.48	-	-	2	0.09	-	-	1	0.33	-	-	3	0.38	-	-
岡山県	-	-	22	0.41	-	-	20	0.37	-	-	8	0.67	-	-	-	-	6	1.20
広島県	1	0.01	19	0.26	1	0.01	18	0.25	-	-	20	1.05	-	-	3	0.14	6	0.29
山口県	-	-	24	0.49	-	-	6	0.12	-	-	4	0.44	1	0.11	-	-	4	0.44
徳島県	-	-	-	-	-	-	7	0.30	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	17	0.59	-	-	5	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	28	0.76	1	0.03	17	0.46	-	-	30	3.75	-	-	-	-	3	0.50
高知県	-	-	19	0.63	-	-	23	0.77	-	-	3	1.00	-	-	-	-	3	0.43
福岡県	-	-	44	0.37	19	0.16	90	0.75	-	-	20	0.77	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	16	0.70	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	10	0.23	-	-	31	0.70	1	0.13	5	0.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	41	0.85	1	0.02	16	0.33	-	-	16	1.78	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	20	0.56	-	-	19	0.53	-	-	2	0.40	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	-	-	29	0.81	-	-	17	0.47	-	-	10	1.67	-	-	1	0.14	2	0.29
鹿児島県	1	0.02	16	0.29	-	-	5	0.09	-	-	7	1.00	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	4	0.12	-	-	6	0.18	-	-	18	1.80	3	0.43	-	-	13	1.86

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年40週

	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総　数	22	0.05	4	0.01	468
北海道	-	-	-	-	19
青森県	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	1	0.05	11
宮城県	3	0.25	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	1
山形県	1	0.10	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	31
茨城県	-	-	1	0.08	-
栃木県	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	15
千葉県	2	0.22	-	-	3
東京都	2	0.08	-	-	24
神奈川県	-	-	1	0.14	13
新潟県	8	0.67	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	13
愛知県	4	0.27	-	-	4
三重県	-	-	-	-	20
滋賀県	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	1	0.10	-	-	57
兵庫県	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	9
広島県	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	22
徳島県	-	-	-	-	19
香川県	-	-	-	-	32
愛媛県	-	-	1	0.17	8
高知県	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	70
佐賀県	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	6
熊本県	-	-	-	-	9
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	29
鹿児島県	-	-	-	-	10
沖縄県	-	-	-	-	5

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年40週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群（SARS）						結　核		細菌性赤痢		ウエストナイル熱	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		サル		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年40週

	エキノコックス症		インフルエンザ(H5N1)	
	犬		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	1	-	5
北海道	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報　第9巻　第40号　2007年10月19日発行
発　行：国立感染症研究所
　　厚生労働省健康局結核感染症課
　　厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
　　〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
　　ＴＥＬ：03-5285-1111
　　ＦＡＸ：03-5285-1129
ＵＲＬ：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
　　＜国立感染症研究所　感染症情報センター＞
　　http://www.mhlw.go.jp/
　　＜厚生労働省＞
　　http://www.forth.go.jp/
　　＜旅行者のための海外感染症情報（厚生労働省検疫所）＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。